



平成18年度

# 札幌医科大学要覧

札幌医科大学



## ☆シンボルマークについて☆

本学の開学30周年（創基35周年）を契機に卒業生や学生等から広く公募し、昭和56年に制定された。

- ・だ円（枠組み）

宇宙の調和を示す。

- ・1945

本学の創基として、北海道立女子医学専門学校が開校した昭和20年（1945年）を意味する。

- ・七光星

道章及び道旗の原形であり、北海道を象徴する。

- ・羽

本学の一層の発展と飛躍を示す。

- ・柏の葉

英知と質実を示すものとして本学の学生バッジの図案の背景にも採用されている。

- ・へびと杖

医学のシンボルであるアスクレピオスの杖を示しており、へびの形は札幌医科大学の頭文字Sを示し、杖の下の方が太くなっているのは、大地にがっしりと根をはり不動のたくましさを意味している。

# 札幌医科大学要覧目次

1	概要	1
(1)	沿革	1
(2)	歴代学長	2
(3)	札幌医科大学組織図	3
(4)	組織及び役職員等	4
(5)	名誉教授	7
(6)	名誉博士	7
(7)	専任職員数	8
	ア 総括表	8
	イ 教養教育科目職員数	9
	ウ 専門教育科目職員数	9
	エ 保健医療学部職員数	10
	オ 附属病院及び事務局職員数	10
(8)	医学部・保健医療学部の主な研究題目	11
	ア 医学部	11
	イ 保健医療学部	18
(9)	文部科学省 G P の採択・実施状況	20
(10)	国際交流	21
	ア 北方医学交流	21
	イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ	21
	ウ 国際医学交流センター	21
	エ 教員在外研究等	21
(11)	標本館	22
	ア 歴代館長	22
	イ 概況	22
	ウ 利用状況	22
2	学事事項	23
(1)	学生に関する事項	23
	ア 年度別志願者及び入学者数	23
	イ 年度別志願者及び入学者数（保健医療学部編入生）	23
	ウ 定員及び現員数	24
	エ 出身地別現員数	24
(2)	年次別卒業者数	25
	ア 医学部	25
	イ 保健医療学部	25
(3)	国家試験合格状況	26
	ア 医師	26
	イ 看護師	26
	ウ 保健師	26
	エ 理学療法士	26
	オ 作業療法士	26
(4)	研究生数	27
(5)	博士（医学）の学位授与者数	28
(6)	修士及び博士の学位授与者数	28
3	附属病院	29
(1)	沿革	29
(2)	歴代病院長	29
(3)	患者概況	30
	ア 年間延患者数	30
	イ 1日平均患者数	30
(4)	中央部門稼働実績概況	31
	ア 放射線部使用状況	31
	イ 検査部・機器診断部・病理部検査件数	31
	ウ 薬剤部調剤件数	32
	エ 手術部手術件数	34
(5)	分娩件数	34
(6)	定床別等級別病床数	35
(7)	病理解剖件数	36
(8)	医療相談状況（平成17年度）	37
	ア 各科別件数	37
	イ 相談内容別件数	37
(9)	病院経営概況	38
	ア 病院診療収入稼働額	38
	イ 医療行為別診療収入稼働額	38

4	附属総合情報センター	39
(1)	沿革	39
(2)	センター所長	39
(3)	組織	39
(4)	事業の概要及び主な施設の整備状況	39
	(情報システム部門)	
ア	教育支援システム	39
イ	研究支援システム	39
ウ	地域医療支援システム	39
エ	学内情報ネットワークシステム(SAINS)	39
	(図書館部門)	
ア	組織・施設概要	39
イ	蔵書・利用概要	39
ウ	入館者数内訳(平成17年度)	39
エ	特徴的な業務	39
5	附属産学・地域連携センター	41
(1)	沿革	41
(2)	センター所長	41
(3)	組織	41
(4)	業務概要	41
ア	研究支援	41
イ	教育支援	41
ウ	知的財産の管理活用	41
(5)	文部科学省科学研究費補助金	42
(6)	受託研究受入れ状況	42
(7)	特許出願等の状況	42
6	教育研究機器センター	43
(1)	沿革	43
(2)	歴代施設部長及びセンター所長	43
(3)	組織	43
(4)	研究計画の概要	44
7	動物実験施設部	45
(1)	沿革	45
(2)	歴代施設部長	45
(3)	組織	45
(4)	関連委員会・指針	46
(5)	事業の概要(平成17年度)	46
ア	公開セミナー	46
イ	施設利用者数	46
ウ	実験動物購入数及び飼育数	46
エ	実験動物検疫検査実績数	46
8	医学部附属がん研究所	47
(1)	沿革	47
(2)	歴代研究所長	47
(3)	組織	47
(4)	研究計画の概要	48
ア	生化学部門	48
イ	分子生物学部門	48
ウ	分子病理病態学部門	48
9	医学部附属臨海医学研究所	49
(1)	沿革	49
(2)	歴代研究所長	49
(3)	組織	49
(4)	研究計画の概要	49
10	平成18年度歳入歳出予算	50
(1)	一般会計	50
(2)	特別会計	51
11	校舎等建物面積	52

# 1 概 要

## (1) 沿 革

札幌医科大学は、北海道総合開発の一環として、昭和25年に旧道立女子医学専門学校を基礎に設置され、平成5年4月には、札幌医科大学衛生短期大学部(昭和58年4月開学)の発展的な改組に伴い、保健医療学部を増設し現在に至っている。

札幌医科大学の沿革の概要は次のとおりである。

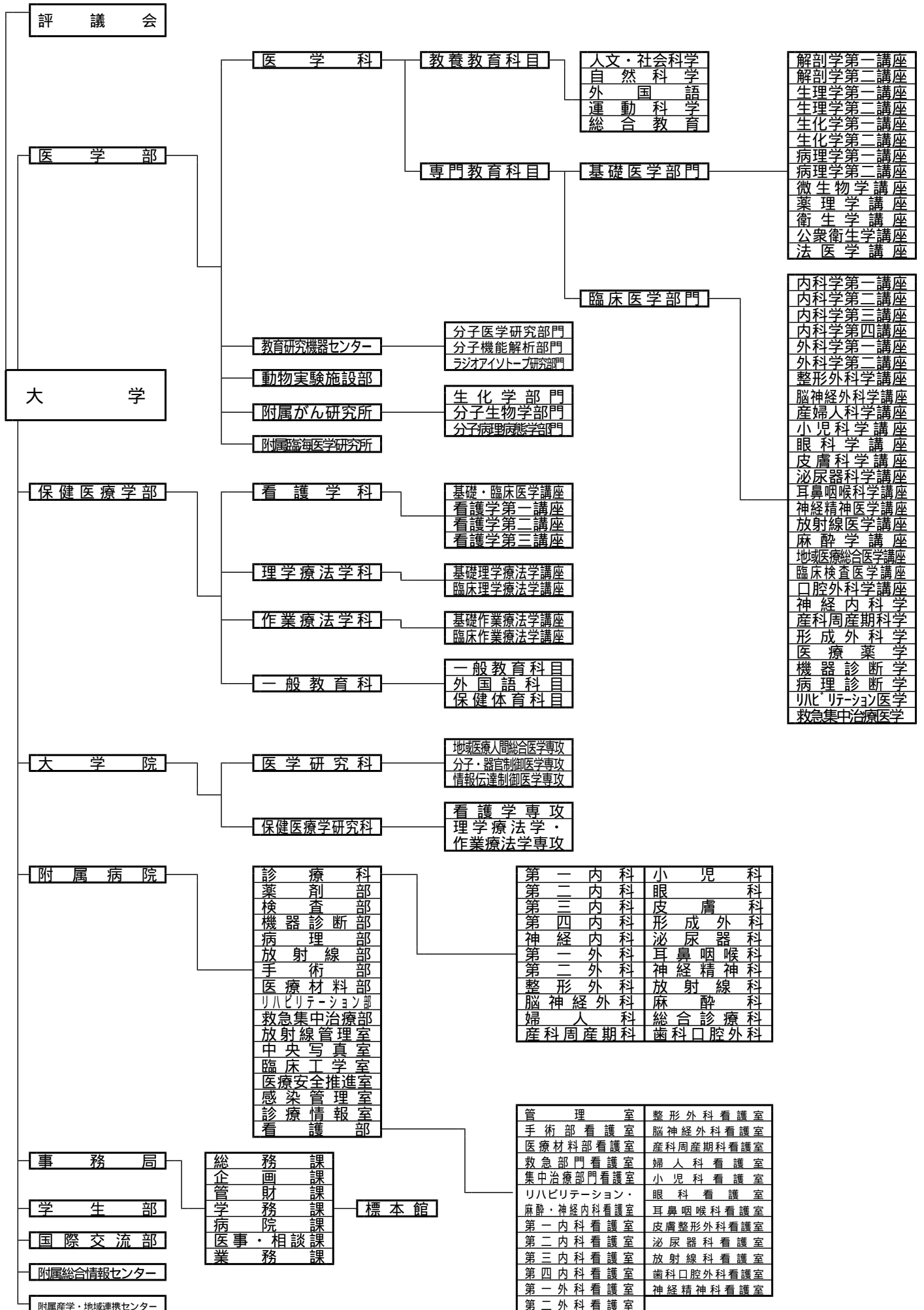
昭和25年	2月20日	札幌医科大学設置認可(学生入学定員40人)
昭和25年	3月25日	札幌医科大学条例公布
昭和25年	4月1日	開学
昭和25年	6月25日	開学式を挙(大学記念日とする)
昭和25年	8月6日	札幌医科大学処務規程公布
昭和26年	4月1日	口腔外科学、整形外科、法医学、放射線医学の各学科目増設
昭和28年	3月31日	学生入学定員を60人に増員
昭和28年	4月1日	事務局及び学務部を設置
昭和29年	4月13日	札幌医科大学設置認可条件中教員資格審査の制限解除
昭和30年	9月1日	附属研究機関としてがん研究所設置
昭和31年	3月31日	大学院医学研究科の設置認可(学生入学定員25人)
昭和31年	4月1日	麻酔学学科目増設
昭和31年	6月30日	附属図書館新築工事竣工
昭和31年	9月1日	北海道立歯科衛生士養成所を本学の附属施設として設置
昭和33年	1月10日	医学進学課程設置
昭和33年	4月1日	口腔治療学学科目増設
昭和35年	6月25日	開学10周年記念式挙
昭和36年	8月1日	北海道立衛生学院条例の公布により看護学校及び歯科衛生士養成所廃止
昭和37年	4月1日	公衆衛生学学科目増設
昭和37年	12月20日	学部学生の入学定員を80人に増員
昭和38年	4月1日	大学院学生入学定員を社会医学系1人、外科系2人増員(総員28人)
昭和38年	12月10日	臨床動物舎竣工
昭和39年	4月1日	皮膚泌尿器科学の学科目を分離
昭和39年	7月1日	専門課程の学科目制を講座制に改正
昭和40年	4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人、外科系1人増員(総員30人)
昭和43年	4月1日	口腔外科学第二講座廃止
昭和43年	4月1日	生化学第二講座増設
昭和43年	9月1日	附属臨海医学研究所設置
昭和43年	12月5日	医学進学課程校舎竣工
昭和44年	4月1日	共同研究施設部設置
昭和45年	2月10日	学務部に副部長制(2人)施行
昭和45年	3月20日	基礎医学校舎第1期工事竣工
昭和46年	1月5日	基礎医学校舎第2期工事竣工
昭和49年	1月23日	学部学生の入学定員を100人に増員
昭和49年	3月30日	放射性同位元素研究センター竣工
昭和50年	6月25日	開学25周年(創基30周年)記念式挙
昭和52年	8月5日	附属がん研究所竣工
昭和53年	8月1日	副学長制(2人)施行
昭和53年	9月30日	体育館竣工
昭和54年	1月26日	大学校舎南棟増築
昭和54年	4月1日	進学課程及び専門課程の区分を廃止
昭和56年	4月1日	附属がん研究所内科学部門廃止、附属がん研究所生化学部門設置、内科学第四講座増設

昭和57年	2月26日	動物実験施設竣工
昭和57年	4月1日	大学院学生入学定員を内科系1人増員（総員31人）
昭和57年	5月16日	動物実験施設部設置
昭和58年	6月23日	附属病院等整備第1期工事（病棟・中央診療棟）竣工
昭和60年	6月20日	附属病院等整備第2期工事（外来診療棟）竣工
昭和61年	3月13日	附属病院等整備第2期工事（臨床教育研究棟）竣工
平成3年	3月28日	国際医学交流センター改修
平成5年	4月1日	保健医療学部（入学定員90名）開設 （看護学科、理学療法学科、作業療法学科）
平成7年	3月31日	リハビリテーション教育実習棟改修
平成10年	4月1日	大学院保健医療学研究科（入学定員24名）開設 （看護学専攻、理学療法学・作業療法学専攻）
平成10年	4月1日	地域医療総合医学講座増設
平成11年	3月28日	基礎医学研究棟竣工
平成11年	4月1日	附属情報センター設置
平成11年	4月1日	共同研究施設部を教育研究機器センターに改組
平成11年	6月11日	新図書館開設
平成12年	4月1日	大学院保健医療学研究科理学療法学・作業療法学専攻博士課程後期（入学定員6名）開設
平成12年	4月1日	学務部を廃止し、学生部を設置
平成12年	4月1日	学部に副学部長制（2名）施行
平成12年	4月1日	臨床検査医学講座増設
平成12年	6月25日	開学50周年（創基55周年）記念式典挙行
平成12年	10月26日	交流会館開設
平成13年	4月1日	大学院医学研究科を再編整備（地域医療人間総合医学専攻、分子・器官制御医学専攻、情報伝達制御医学専攻の3専攻へ）
平成13年	4月16日	地域医療支援センター設置
平成14年	4月1日	患者の家族等のための宿泊施設（ファミリーハウス）開設 附属病院に救命救急センターを設置
平成14年	10月1日	附属病院に高度救命救急センターを設置
平成14年	12月1日	札幌医科大学記念ホール開設
平成16年	4月1日	医学部附属病院から大学附属病院に名称変更
平成18年	4月1日	附属図書館及び附属情報センターを廃止し、附属総合情報センターを設置 附属産学・地域連携センター設置 大学院保健医療学研究科看護学専攻博士課程後期（入学定員2名）開設

## (2) 歴代学長

昭和25年	4月1日	—	昭和36年	3月31日	大野精七
昭和36年	4月1日	—	昭和40年	3月31日	中川 諭
昭和40年	4月1日	—	昭和45年	2月1日	新保 幸太郎
昭和45年	2月1日	—	昭和47年	2月8日	(学長職務代理) 渡邊 左武郎
昭和47年	2月9日	—	昭和55年	2月8日	渡邊 左武郎
昭和55年	2月9日	—	昭和61年	2月8日	和田 武雄
昭和61年	2月9日	—	平成4年	2月8日	菊地 浩吉
平成4年	2月9日	—	平成10年	2月8日	谷内 昭
平成10年	2月9日	—	平成16年	2月8日	秋野 豊明
平成16年	2月9日	—	現	在	今井 浩三

(3) 札幌医科大学組織図



#### (4) 組織及び役職員等

(平成18年6月1日現在)

職名	氏名
学長	今井浩三
◎ 評 議 会	
評議員	今井浩三
〃	當瀬規嗣
〃	丸山知子
〃	並木昭義
〃	齋藤利和
〃	佐藤昇志
〃	濱田洋文
〃	島本和明
〃	時野隆至
〃	加納英雄
〃	塚本泰司
〃	藤井暢弘
〃	黒木由夫
〃	松嶋範男
〃	澤田雄二
〃	宮本重範
〃	影山セツ子
◎ 事 務 局	
局長	村井茂
次長	板垣政市
病院事務長	石川治憲
総務課長	三田村栄幸
企画課長	辻泰弘
管財課長	田口修二
学務課長	宮川秀明
病院課長	五十嵐喜一郎
医事・相談課長	嶋田哲朗
業務課長	福井朗
◎ 医 学 部	
学部長(兼)	教授 當瀬規嗣
副学部長(〃)	〃 黒木由夫
副学部長(〃)	〃 澤田幸展

#### 学科目

心理学	教授	澤田幸展
哲学・倫理学	〃	今井道夫
法学・社会学	助教授	旗手俊彦
情報科学	講師	小島満
数学	講師	加茂憲一
物理学	教授	高田純
化学	〃	賀佐伸省
生物学	〃	吉田幸一
英語	〃	森岡伸
運動科学	助教授	岡野五郎
神経内科学		(選考中)
産科周産期科学(兼)	教授	齋藤豪
形成外科学	〃	四ツ柳高敏
医療薬学	〃	宮本篤
機器診断学(兼)	〃	高橋弘毅
病理診断学	〃	長谷川匡
リハビリテーション医学	〃	石合純夫
救急集中治療医学	〃	浅井康文

#### 基礎医学部門(13講座)

解剖学第一講座	教授	辰巳治之
解剖学第二講座	〃	村上弦
生理学第一講座	〃	當瀬規嗣
生理学第二講座		(選考中)
生化学第一講座	教授	黒木由夫
生化学第二講座	〃	加納英雄
病理学第一講座	〃	佐藤昇志
病理学第二講座	〃	澤田典均
微生物学講座	〃	藤井暢弘
薬理学講座	〃	堀尾嘉幸
衛生学講座	〃	小林宣道
公衆衛生学講座	〃	森満
法医学講座	〃	松本博志

#### 臨床医学部門(20講座)

内科学第一講座	教授	篠村恭久
内科学第二講座	〃	島本和明
内科学第三講座	〃	高橋弘毅
内科学第四講座	〃	新津洋司郎
外科学第一講座	〃	平田公一
外科学第二講座	〃	樋上哲哉



整形外科学講座	教授	山下敏彦
脳神経外科学講座	"	寶金清博
産婦人科学講座	"	齋藤豪
小児科学講座	"	堤裕幸
眼科学講座	"	大黒浩
皮膚科学講座	"	神保孝一
泌尿器科学講座	"	塚本泰司
耳鼻咽喉科学講座	"	氷見徹夫
神経精神医学講座	"	齋藤利和
放射線医学講座	"	晴山雅人
麻酔学講座	"	並木昭義
地域医療総合医学講座	"	山本和利
臨床検査医学講座	"	渡邊直樹
口腔外科学講座	"	平塚博義

### ○ 医学部教育研究機器センター

所長(兼)	教授	藤井暢弘
分子医学研究部門 部門長	"	濱田洋文
分子機能解析部門 部門長	"	小海康夫
デジタル研究部門 部門長(兼)	"	小林宣道

### ○ 医学部動物実験施設部

部長(兼)	教授	加納英雄
副部長	助教授	磯貝浩

### ○ 医学部附属がん研究所

所長(兼)	教授	時野隆至
生化学部門	"	佐々木輝捷
分子生物学部門	"	時野隆至
分子病理病態学部門	"	三高俊広

### ○ 医学部附属臨海医学研究所

所長(兼)	教授	當瀬規嗣
副所長	助教授	高橋延昭

### ◎ 保健医療学部

学部長(兼)	教授	丸山知子
--------	----	------

副学部長(〃)	教授	澤田雄二
"(〃)	"	松嶋範男

### 看護学科

学科長(兼)	教授	影山セツ子
基礎・臨床医学講座	"	傳野隆一
"	"	笠井潔
看護学第一講座	"	稲葉佳江
"	"	片岡秋子
看護学第二講座	"	丸山知子
"	"	蝦名美智子 (選考中)
看護学第三講座	教授	影山セツ子
"	"	波川京子 (選考中)
"	"	

### 理学療法学科

学科長(兼)	教授	宮本重範
基礎理学療法学講座	"	乗安繁而
"	"	武田秀勝
臨床理学療法学講座	"	宮本重範
"	"	乾公美
"	"	小塚直樹

### 作業療法学科

学科長(兼)	教授	澤田雄二
基礎作業療法学講座	"	澤田雄二
"	"	坪田貞子
臨床作業療法学講座	"	村上新治
"	"	青山宏
"	"	仙石泰仁

### 一般教育科

科長(兼)	教授	松嶋範男
物理学	"	松嶋範男
化学	"	藤井博匡
英語	"	根本慎
生物学	助教授	山田恵子
情報科学	"	大柳俊夫
心理学	"	高橋義信
社会学	講師	道信良子

◎ 附 属 病 院

病 院 長(兼) 教授 島 本 和 明  
 副 院 長(〃) 教授 塚 本 泰 司  
 副 院 長(〃) 〃 寶 金 清 博

診療科 (22科994床)

第一内科長(兼) 教授 篠 村 恭 久  
 第二内科長(〃) 〃 島 本 和 明  
 第三内科長(〃) 〃 高 橋 弘 毅  
 第四内科長(〃) 〃 新 津 洋 司 郎  
 神経内科長(〃) 〃 齋 藤 利 和  
 第一外科長(〃) 〃 平 田 公 一  
 第二外科長(〃) 〃 樋 上 哲 哉  
 整形外科長(〃) 〃 山 下 敏 彦  
 脳神経外科長(〃) 〃 寶 金 清 博  
 婦 人 科 長(〃) 〃 齋 藤 豪 豪  
 産科周産科長(〃) 〃 齋 藤 豪 豪  
 小 児 科 長(〃) 〃 堤 裕 幸  
 眼 科 長(〃) 〃 大 黒 浩 一  
 皮 膚 科 長(〃) 〃 神 保 孝 一  
 形成外科長(〃) 〃 四 ツ 柳 高 敏  
 泌尿器科長(〃) 〃 塚 本 泰 司  
 耳鼻咽喉科長(〃) 〃 氷 見 徹 夫  
 神経精神科長(〃) 〃 齋 藤 利 和  
 放射線科長(〃) 〃 晴 山 雅 人  
 麻 酔 科 長(〃) 〃 並 木 昭 義  
 総合診療科長(〃) 〃 山 本 和 利  
 歯科口腔外科長(〃) 〃 平 塚 博 義

薬 剂 部

部 長(兼) 教授 宮 本 篤

検 査 部

部 長(兼) 教授 渡 邊 直 樹

機 器 診 断 部

部 長(兼) 教授 高 橋 弘 毅

病 理 部

部 長(兼) 教授 長 谷 川 匡

放 射 線 部

部 長(兼) 教授 晴 山 雅 人

手 術 部

部 長(兼) 教授 山 下 敏 彦

医 療 材 料 部

部 長(兼) 教授 氷 見 徹 夫

リハビリテーション部

部 長(兼) 教授 石 合 純 夫

救急集中治療部

部 長(兼) 教授 浅 井 康 文

放射線管理室

室 長(兼) 教授 晴 山 雅 人

中央写真室

室 長(兼) 教授 長 谷 川 匡

臨床工学室

室 長(兼) 教授 寶 金 清 博

医療安全推進室

室 長(兼) 教授 寶 金 清 博

感染管理室

室 長(兼) 教授 渡 邊 直 樹

診療情報室

室 長(兼) 教授 寶 金 清 博

看 護 部

部 長 高 村 美 智 子

◎ 学 生 部

部 長(兼) 教授 並 木 昭 義  
 (〃) 〃 森 満  
 (〃) 〃 村 上 新 治

◎ 国 際 交 流 部

部 長(兼) 教授 齋 藤 利 和  
 (〃) 〃 森 岡 伸  
 (〃) 〃 乾 公 美

◎ 附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー

所 長(兼) 教授 佐 藤 昇 志  
 副 所 長 原 田 敏  
 副 所 長 ( 兼 ) 助 教 授 明 石 浩 史

◎ 附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー

所 長(兼) 教授 濱 田 洋 文  
 副 所 長 杉 本 勇  
 副 所 長 ( 兼 ) 助 教 授 石 埜 正 穂

(5) 名 誉 教 授 (授与順)

(平成18年6月1日現在)

名 誉 教 授	末 吉 利 三
”	和 田 寿 郎
名 誉 教 授	林 喬 義
”	福 嶋 豁 行
”	田 中 護
”	三 橋 公 平
”	高 橋 長 雄
”	塚 田 英 之
”	寺 山 良 雄
”	三 木 毅
”	漆 崎 一 朗
”	早 坂 混
”	橋 本 正 淑
”	三 成 脩
”	高 橋 杏 三
”	熊 本 悦 明
”	黒 川 一 郎
”	福 田 守 道
”	杉 山 善 朗
”	飯 村 攻 基
”	小 片 蕙 子
”	藤 永 潤 子
”	近 藤 潤 英 世
”	藪 英 浩 吉
”	(元学長) 菊 地 浩 直 彦
”	高 畑 和 夫
”	森 田 正 光
”	金 子 英 世
”	大 鹿 昭 克
”	形 浦 浩 次
”	三 松 俊 郎
”	小 筒 井 完 夫
”	森 道 夫
”	中 川 喬 三
”	岩 城 禮 一
”	浅 見 行 一
”	千 葉 峻 三
”	浦 澤 价 子
”	浦 澤 正 三

名 誉 教 授

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

”

(元学長)

端 和 夫
石 井 清 一
板 谷 幸 一
望 月 洋 一
石 澤 光 郎
小 浜 源 郁
秋 山 盛 雄
秋 野 豊 明
工 藤 隆 一
阿 部 庄 作
鬼 原 彰
山 崎 英 雄
安 倍 十 三 夫
David James Magee
青 木 藩
名 取 博
松 本 博 之

(6) 名 誉 博 士

(平成18年6月1日現在)

名 誉 博 士

Pierre CHAMBON

## (7) 専任職員数

(平成18年6月1日現在)

ア 総括表

(単位:人)

	計	学 部							保健医療学部				附 属 病 院	事 務 局	附 属 総 合 情 報 セ ン タ ー	附 属 産 学 ・ 地 域 連 携 セ ン タ ー		
		学 長	医 学 科				教 育 研 究 機 器 セ ン タ ー	動 物 実 験 施 設 部	附 属 が ん 研 究 所	附 属 臨 海 医 学 研 究 所	看 護 学 科	理 学 療 法 学 科					作 業 療 法 学 科	一 般 教 育 科
			学 科 目 ( 教 養 教 育 科 目 )	学 科 目 ( 専 門 教 育 科 目 )	基 礎 医 学 部 門	臨 床 医 学 部 門												
教育職(大学)	1	1																
学 長	69		6	5	12	20	2		3									
教 助 教	63		5	5	12	19	2	1	1	1	7	3	4	3				
講 師	93		7	8	10	52	1		1	1	8	2	1	1			1	
助 手	156		2	16	26	92	3		6	1	6	2	3					
計	382	1	20	34	60	183	8	1	11	2	29	12	13	7			1	
行 政 職	3																3	
局 長・次 長・病 院 事 務 長	20																18	
課 長・課 長 補 佐 員	114																105	
一 般 事 務 職	18						1										13	
技 術 師	7																7	
守 衛 員	2																2	
運 転 技 術 員	1						1											
電 頭 操 作 員	3							3										
動 物 飼 育 員	12																12	
司 書 員	12		2		3	3	2		1								1	
研 究 補 助 員	30																30	
調 理 員	1													1				
電 話 交 換 手	8																8	
ボ イ ラ ー 技 師	15																15	
技 術 員	10				1	1	2	1									5	
薬 劑 補 助 員	6																6	
看 護 助 手	39																39	
無 線 通 信 士	2																2	
計(1)	303		2		4	4	6	4	1						58	204	16	
医 療 職(二)	1							1										
獣 医 師	8																8	
栄 養 士	5																	
臨 床 工 学 技 術 士	52						2		1	2							49	
臨 床 検 査 技 術 師	2																	
衛 生 検 査 技 術 師	25																25	
薬 劑 師	44						4										40	
診 療 放 射 線 技 術 師	3																3	
理 療 訓 練 員	4																4	
歯 科 衛 生 士	3																3	
歯 科 技 工 士	2																2	
視 能 訓 練 士	5																5	
理 学 療 法 士	3																3	
作 業 療 法 士	1																1	
言 語 聴 覚 士	158						6	1	3								140	
計(2)	581																581	
医 療 職(三)	27																27	
看 護 師	17																17	
准 看 護 師	625																625	
計(3)	1,086		2		4	4	12	5	4						823	212	16	
(1)+(2)+(3)	1,468	1	22	34	64	187	20	6	15	2	29	12	13	7	823	212	17	
総 計																		

※職員数は、再任用職員を含む

イ 教養教育科目職員数

(単位:人)

所 属		学 科 目 (教 養 教 育 科 目)										
		心 理 学	哲 学 ・ 倫 理 学	法 学 ・ 社 会 学	情 報 科 学	数 学	物 理 学	化 学	生 物 学	英 語	運 動 科 学	計
職 種	教育職(大学)	1	1	1		1	1	1	1	1	1	6
	助教 講師 助 手	1		1	1	1	2	1	2	1	1	7
	計	3	1	1	1	1	3	3	3	3	1	20
行政職	研究補助員	1					1					2
	計	1					1					2
合 計		4	1	1	1	1	4	3	3	3	1	22

ウ 専門教育科目職員数

(単位:人)

所 属 講 座		基 礎 医 学 部 門 ( 講 座 )													
		解 剖 学 第 一	解 剖 学 第 二	生 理 学 第 一	生 理 学 第 二	生 化 学 第 一	生 化 学 第 二	病 理 学 第 一	病 理 学 第 二	微 生 物 学	薬 理 学	衛 生 学	公 衆 衛 生 学	法 医 学	計
職 種	教育職(大学)	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	助教 講師 助 手	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	計	2	2	2	1	2	3	1	1	2	2	2	3	3	10
	計	5	5	5	3	5	5	5	4	5	4	5	5	4	26
行政職	研究補助員		1	1						1			1		3
	計		1	1						1			1		1
合 計		5	6	6	3	5	5	5	4	6	4	5	6	4	64

(単位:人)

所 属 講 座		臨 床 医 学 部 門 ( 講 座 )																					
		内 科 学 第 一	内 科 学 第 二	内 科 学 第 三	内 科 学 第 四	外 科 学 第 一	外 科 学 第 二	整 形 外 科 学	脳 神 経 外 科 学	産 婦 人 科 学	小 児 科 学	眼 科 学	皮 膚 科 学	泌 尿 器 科 学	耳 鼻 咽 喉 科 学	神 経 精 神 医 学	放 射 線 医 学	麻 酔 学	地 域 医 療 綜 合 医 学	臨 床 検 査 医 学	口 腔 外 科 学	計	
職 種	教育職(大学)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
	助教 講師 助 手	4	4	2	2	4	4	3	2	3	2	2	1	2	3	3	2	5	1	2	1	1	19
	計	6	5	6	7	5	2	3	5	4	7	5	5	5	4	5	5	2	4	1	6	6	92
	計	12	12	10	12	11	8	9	9	9	10	9	9	9	8	9	9	9	6	4	9	9	183
行政職	研究補助員	1											1										3
	計	1											1										1
合 計		13	12	10	12	11	8	9	9	9	10	9	9	11	8	9	10	9	6	4	9	9	187

(単位:人)

所 属		学 科 目 (専 門 教 育 科 目)							
		神 経 内 科 学	産 科 周 産 期 科 学	形 成 外 科 学	医 療 薬 学	機 器 診 断 学	病 理 診 断 学	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 医 学	救 急 集 中 治 療 医 学
職 種	教育職(大学)	1	1	1	1		1	1	5
	助教 講師 助 手	1	1	2		1	2	7	8
	計	1	1	2	1	1	2	7	16
合 計		3	3	3	1	2	4	3	34

エ 保健医療学部職員数 (単位:人)

所 属		看護学科			理学療法学科		作業療法学科		一 般 教 育 科		計
		基礎臨床医学	看護学第一	看護学第二	看護学第三	基礎理学療法学	臨床理学療法学	基礎作業療法学	臨床作業療法学	一般教育科	
職 種	教授	2	2	2	2	2	3	2	3	3	21
	助教	2	2	2	1	1	2	3	1	3	17
教育職(大学)	講師	2	2	2	4	2	1	1	1	1	12
	助	3	1	2	1	1	1	2			11
合 計		4	9	7	9	6	6	7	6	7	61

オ 附属病院及び事務局職員数 (単位:人)

所 属		大 学 附 属 病 院														計						
		薬 劑 部	検 査 部	機 器 診 断 部	病 理 部	放 射 線 部	医 療 材 料 部	リハビリテーション部	救急集中治療部	看 護 部	放 射 線 管 理 室	中 央 写 真 室	臨 床 工 学 室	医 療 安 全 推 進 室	感 染 管 理 室		診 療 情 報 室	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	歯 科	口 腔 外 科	
行 政 職	一般事務職員	1								2												3
	技電気技能員																					4
医 療 職(二)	技師																					1
	薬剤補助員	6	1		2	2																5
医 療 職(二)	看護補助員									39												6
	計	7	1		2	2				41		4	1									39
医 療 職(二)	臨床検査技師	25	34	10	5							5										58
	放射線技師					36				4												5
医 療 職(二)	理学療法士							5														3
	作業療法士							3														3
医 療 職(二)	理学療法士							3														3
	衛生士																					4
医 療 職(二)	歯科技士																					3
	訓練士																					3
医 療 職(二)	言語聴覚士															2						2
	計	25	34	10	5	36		11		4		5				2	1				7	
医 療 職(二)	看護師									576			2	1	2							581
	准看護師									27												27
医 療 職(二)	計									620			2	1	2							625
	合 計	32	35	10	7	38		11		661	4	4	6	2	1	2	2	1	7			823

(単位:人)

所 属		事 務 局							計		
		局病	総	企	管	学	病	医			
職 種	局長	課	課	課	課	課	課	課	課	課	
	行 政 職	局長・次長・病院事務長	3								
課長・課長補佐		3	2	1	4	4	2	2	2	18	
行 政 職	一般事務職員	23	7	6	18	25	14	12	105		
	技師				12	1			13		
行 政 職	守衛員								7		
	運転補助員	2				7			7		
行 政 職	研究員								2		
	調査員				1				1		
行 政 職	電話交換手				8				30		
	ポイラ一能通信				15				8		
行 政 職	無線				1				15		
	計	3	28	9	43	24	67	14	204		
医 療 職(二)	栄養士								8		
	計								8		
合 計		3	28	9	43	24	75	16	14	212	

※職員数は、再任用職員を含む

(8) 医学部・保健医療学部の主な研究題目

ア 医学部

基	解剖学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>消化管の超微形態学および三次元的解析</li> <li>NOS, Mn-SOD等、免疫組織化学による組織および細胞内分布についての解析</li> <li>ネフローゼ自然発症（ICGN）マウスの形態学的解析</li> <li>インターネットを活用した統合化三次元再構築システムの開発とその応用</li> <li>神経培養による神経細胞の特性の解析</li> <li>解剖学、形態学の情報を元にした医学一般のマルチメディア情報の統合化システムの開発と構築（URL <a href="http://www.sapmed.ac.jp/anat/">http://www.sapmed.ac.jp/anat/</a>）</li> <li>Multi-Language Digital Anatomical Database（情報G7 サブプロジェクト8）</li> <li>神経細胞上における適切な入力をもつシナプス分布形成のメカニズムの解明</li> <li>大脳皮質投射ニューロンの樹状突起形態形成と機能発現の解析</li> </ol>
	解剖学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>マクロから顕微鏡レベルまでの解剖学、特に臨床的な問題提起に基づいた人体局所の計量形態学的研究、組織化学的研究</li> <li>道内を始め北東アジア一帯から収集した古人骨標本の一大センターとして、形態人類学的研究</li> <li>本邦で2つしかない、筋骨格系の障害の適切な治療のために、生体の各部位に生ずる運動や力を、物理・工学的手法を用い解明する研究センター</li> </ol>
礎	生理学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>発生期心筋におけるイオンチャネルの機能・構造の変化に関する研究</li> <li>心筋・平滑筋細胞のカルシウム動態とイオンチャネル活動の連関に関する研究</li> <li>諸種病態モデルにおけるイオンチャネルの役割に関する研究</li> </ol>
	生理学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>起立・歩行運動の中枢神経機序</li> <li>脊髄傷害後の運動機能代償機序</li> <li>中枢シナプス伝達の可塑性に関する研究</li> <li>海馬シナプス伝達に及ぼす麻酔薬の作用</li> </ol>
医	生化学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>糖質結合蛋白質の構造と機能に関する研究</li> <li>カルシウム・リン脂質結合蛋白質の構造と機能に関する研究</li> <li>コレクチンを介する生体防御の分子機構の解明</li> <li>エンドトキシン受容体の構造と機能に関する研究</li> <li>肺サーファクタントアポ蛋白の病態医化学的研究</li> </ol>
	生化学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>膜脂質シグナル系の制御機構</li> <li>ジアシルグリセロールキナーゼ</li> <li>ホスファチジン酸ホスファターゼ</li> <li>細胞骨格再構成系の制御機構</li> </ol>
学	病理学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>腫瘍免疫分子機構、ヒト癌ワクチン開発</li> <li>腫瘍の免疫学的エスケープの分子機構</li> <li>分子シャペロン、特に熱ショック蛋白と免疫、熱ショック蛋白質と癌</li> <li>胸腺上皮による免疫寛容誘導機構</li> <li>リンパ球抗原と機能</li> <li>移植片拒絶の制御機構</li> <li>分子シャペロンと神経細胞変性機構</li> <li>アポトーシスの分子機構</li> <li>細胞周期、細胞癌化機構、特にセントロゾーム異常と癌</li> <li>シグナル伝達機構</li> <li>白血病、悪性リンパ種の分子遺伝学</li> <li>遺伝子診断と分子病理</li> <li>寄生虫病と分子病理</li> <li>海洋生物産生物質と癌、免疫、医学</li> <li>重力医学、宇宙医学</li> </ol>
	病理学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>生体バリアの分子病理学</li> <li>糖尿病網膜症の発生メカニズム</li> <li>タイト結合関連分子パーチモン（7H6抗原）の分子構造と機能</li> <li>粘膜の生体防御と病態生理</li> <li>鼻粘膜とタイト結合</li> <li>肝細胞のギャップ結合調節機構</li> <li>肝疾患と血液胆汁関門</li> <li>シグナル伝達を介した細胞間接着装置の調節機構</li> <li>血管内皮細胞株における生体バリアの再構成と制御機構</li> <li>コンディショナルシステムを用いた核内受容体の機能解析</li> <li>ヒトの悪性腫瘍におけるタイト結合異常</li> </ol>
部		
門		

基 礎 医 学 部 門	微生物学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 病原微生物の病原因子に関する研究</li> <li>2 ウイルス感染によるサイトカイン、及びTLRシグナル伝達系の変動に関する研究</li> <li>3 細胞分化に伴うインターフェロン・システムの変化</li> <li>4 難治性疾患における病原微生物、内在性レトロウイルス、レトロポゾン等の関与</li> <li>5 プリオン蛋白遺伝子プロモータ領域の解析、及びプリオン蛋白蓄積機構の解明</li> </ol>
	薬理学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 老化の科学的解明</li> <li>2 細胞内カルシウムイオンの働きと意義</li> </ol>
	衛生学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウイルス性下痢症の分子疫学</li> <li>2 ウイルス遺伝子の複製、変異のメカニズム</li> <li>3 感染性微生物の病原因子に関する機能解析</li> <li>4 院内感染起因菌、薬剤耐性菌の分子疫学</li> <li>5 細菌における薬剤耐性遺伝子の分子遺伝学</li> <li>6 感染症流行に関する時系列解析</li> </ol>
	公衆衛生学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域社会におけるがん、循環器疾患、特定疾患などに関する疫学的研究</li> <li>2 分子生物学的手法を取り入れた生活習慣病に関する予防医学的研究</li> <li>3 高齢者に対する医療、保健、福祉の統合的推進に関する研究</li> <li>4 ストレス関連疾患などの新しい職業性疾患に関する予防医学的研究</li> <li>5 環境要因がエピジェネティクスに与える影響に関する研究</li> </ol>
法医学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アルコール等濫用薬物の細胞内情報伝達機構</li> <li>2 アルコール性・非アルコール性肝障害の発生・進展機序</li> <li>3 アルコール濫用マーカーの探索と応用</li> <li>4 アルコールの寿命に及ぼす影響</li> <li>5 アルコール代謝酵素多型と作用の関係</li> <li>6 動物モデルデータのスケールアップ</li> <li>7 突然死の分子機構と診断法の開発</li> </ol>	
臨 床 医 学 部 門	内科学第一講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 消化器癌のゲノム情報に基づく遺伝子診断および遺伝子治療</li> <li>2 アポトーシスの応用による癌の遺伝子治療</li> <li>3 癌の新しい分子標的免疫治療の開発</li> <li>4 潰瘍性大腸炎・クローン病の再生治療、免疫治療</li> <li>5 消化器癌の拡大内視鏡診断・超音波内視鏡診断と生検材料を用いた遺伝子診断</li> <li>6 肝・胆・膵領域における新しい画像診断および遺伝子を基盤とした治療</li> <li>7 消化管癌における新しい癌化促進分子機構の解明と臨床応用</li> <li>8 消化器癌進展（浸潤・転移）分子機構と遺伝子診断・治療応用</li> <li>9 肝癌における前癌病変の発生機序とその阻止に関する研究</li> <li>10 I V Rを用いた癌に対する新しい標的免疫治療の開発</li> <li>11 自己免疫疾患の感受性遺伝子（SNP）解明</li> <li>12 自己免疫疾患の新しい治療法の開発</li> <li>13 アレルギー疾患の新しい治療法の開発</li> <li>14 後天性免疫不全症候群の遺伝子診断および遺伝子治療</li> <li>15 糖尿病・甲状腺疾患の分子生物学的研究と新治療法の開拓</li> <li>16 心療内科学と免疫・内分泌・神経アキシス</li> </ol>
	内科学第二講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本態性・各種2次性高血圧の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>2 糖尿病・高脂血症の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>3 虚血性心疾患の病態・薬物療法における基礎的・臨床的研究</li> <li>4 虚血性心疾患の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究</li> <li>5 心筋リモデリング、アポトーシスに関する基礎的研究</li> <li>6 各種心疾患における画像診断に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>7 心機能の臨床的評価法と治療に関する研究</li> <li>8 不整脈の成因・病態に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>9 不整脈の侵襲的治療法における基礎的・臨床的研究</li> <li>10 高血圧、糖尿病の発症と進展に関する疫学的研究</li> <li>11 虚血性心疾患の発症と予後規定因子に関する疫学的研究</li> <li>12 各種腎疾患の成因・病態・治療に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>13 腎不全の血液透析、腹膜透析療法に関する臨床的研究</li> <li>14 各種血液浄化法に関する臨床的研究</li> <li>15 腎不全におけるカルシウム、リン代謝に関する臨床的研究</li> <li>16 各種内分泌因子の臓器保護作用に関する基礎的・臨床的研究</li> <li>17 メタボリックシンドロームの成因・病態に関する基礎的・臨床的研究</li> </ol>



臨 床	内科学第三講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 各種肺疾患の三次元的病態像の解析</li> <li>2 臨床C T、M R I、超音波像の解析</li> <li>3 肺気腫の診断、病態に関する研究</li> <li>4 H R C Tをもちいた末梢気道立体構築の研究</li> <li>5 特発性間質肺炎の診断、病態、治療に関する研究</li> <li>6 肺サーファクタント蛋白の機能に関する研究</li> <li>7 肺癌の診断、予後因子、治療に関する研究</li> <li>8 肺癌の浸潤転移に関する分子生物学的研究</li> <li>9 サルコイドーシスの診断、病態に関する研究</li> <li>10 気管支喘息の病態、治療に関する研究</li> <li>11 環境と気管支喘息、過敏性肺炎に関する研究</li> <li>12 膠原病の肺疾患の診断、病態、治療に関する研究</li> </ul>
	内科学第四講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 骨髄幹細胞を用いた再生医療、人工骨髄開発に関する研究</li> <li>2 大腸癌発生に関わるaberrant crypt fociに関する研究</li> <li>3 T G F - のシグナル伝達機能と疾病に関する研究</li> <li>4 アルコール性肝障害における線維化の成因に関する研究</li> <li>5 C型肝炎の治療抵抗性因子としての鉄過剰とその治療法に関する研究</li> <li>6 トランスフェリン遺伝子複合体によるin vivo 遺伝子送達法の開発</li> <li>7 潰瘍性大腸炎の発症機序に関する研究</li> <li>8 血小板産生調節機構に関する研究</li> <li>9 慢性関節リウマチ・潰瘍性大腸炎・劇症肝炎に対する遺伝子治療法の基礎的研究</li> <li>10 抗転移療法の開発研究</li> <li>11 薬剤耐性遺伝子を用いた骨髄保護療法の開発</li> <li>12 悪性腫瘍に対する特異的D N Aワクチンの開発</li> <li>13 インシュリンのシグナル伝達に関する研究</li> <li>14 白血病細胞におけるアポトーシスシグナルに関する研究</li> <li>15 アルゴンプラズマレーザを用いた消化管病変の治療</li> <li>16 肝胆膵悪性腫瘍に対するInterventional therapyによる臨床研究</li> <li>17 抗V L A 4抗体を用いた急性骨髄性白血病の治療に関する研究</li> <li>18 ヒト間葉系幹細胞を用いた肝再生機構に関する研究</li> <li>19 肝繊維化に関する研究</li> </ul>
医 学	外科学第一講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 肝不全発生機序と人工肝開発</li> <li>2 肝幹細胞移植と肝細胞置換術</li> <li>3 肝再生医学における遺伝子治療の導入</li> <li>4 外科侵襲と胆汁うっ滞、臓器不全に対する基礎的研究</li> <li>5 臓器肝移植における再灌流障害発生予防に関する研究</li> <li>6 心臓死からのグラフト肝摘出に関する研究</li> <li>7 アンアログリコプテインレセプター解析による肝予備能評価確立に関する研究</li> <li>8 胃癌、膵・胆道癌の再建外科治療に関する研究</li> <li>9 全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の消化管運動についての基礎的研究</li> <li>10 消化器癌・乳癌の転移・治療に関する分子生物学的研究</li> <li>11 胃癌の転移形式の差に関わる分子機構に関する研究</li> <li>12 膵・胆道癌における癌発生・浸潤形式の分子生物学的研究</li> <li>13 乳管内微小病変の診断と治療に関する研究</li> <li>14 固型癌術後療法とD N Aアレイおよびプロテオミクスに関する研究</li> </ul>
	外科学第二講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 新生児期未熟心筋保護法の研究</li> <li>2 複雑心奇形による新しい心内修復術術式の研究</li> <li>3 先天性心疾患術後遠隔期のQOLの研究</li> <li>4 重症心疾患に対する長時間心筋虚血の安全性確立についての研究</li> <li>5 弁膜症に対する自己弁温存remodeling法術式確立の研究</li> <li>6 弁置換症例に対する各使用弁種からみた遠隔成績の研究</li> <li>7 急性解離性動脈瘤に対する病変部からみた手術及び遠隔成績の検討</li> <li>8 胸腹部大動脈瘤に対する補助手段と脊髄虚血防止の研究</li> <li>9 重症心機能低下症例に対する術後補助手段と人工心臓、心移植の研究</li> <li>10 重症冠動脈疾患と弁膜症に対する低侵襲手術の応用と手術成績向上の研究</li> <li>11 胸部疾患に対する胸腔鏡による手術適応拡大の研究</li> <li>12 胸壁浸潤性肺癌に対する温熱療法の確立</li> <li>13 肺癌に対する外科治療の拡大、縮小手術適応に関する研究</li> <li>14 心臓及び肺移植に対する免疫抑制法、保存法の研究</li> <li>15 弁膜疾患に合併する心房細動に対するMaze手術後の心房機能の研究</li> <li>16 重症不全心に対する心室容量縮小手術の研究</li> <li>17 弁膜症に対するHomograft弁の保存法と臨床応用の研究</li> <li>18 虚血肢に対する遺伝子治療の基礎的・臨床的研究</li> <li>19 虚血心筋に対する再生治療の研究</li> <li>20 完全内視鏡下における人工血管置換術</li> <li>21 感染性心内膜炎・感染人工血管に対するヒト組織移植の研究</li> <li>22 不全心に対する外科手術法の検討（弁形成・Batista法、Dor法）</li> <li>23 開心術及び臓器移植に伴う虚血再灌流障害における機序の解明と予防治療法の確立</li> <li>24 重症筋無力症、胸腺腫に関する遺伝子解析</li> <li>25 胸腔鏡手術に関する手術手技、デバイスの研究</li> </ul>
部 門		

臨 床 医 学 部 門	整形外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 骨肉種の成因に関する免疫学的・分子生物学的研究</li> <li>2 悪性骨軟部腫瘍の化学療法に関する研究</li> <li>3 微小血管外科による組織移植の研究</li> <li>4 四肢のバイオメカニクスに関する研究</li> <li>5 関節の固有感覚受容器に関する研究</li> <li>6 腰椎における痛覚発生メカニズムに関する研究</li> <li>7 骨塩量に影響を及ぼす諸因子の研究</li> <li>8 損傷腱の修復と癒着防止に関する研究</li> <li>9 軟骨細胞、神経細胞のイオンチャンネルに関する研究</li> <li>10 成長因子の遺伝子導入による骨再生の研究</li> <li>11 同種四肢移植に関する研究</li> <li>12 骨軟部悪性腫瘍に対する免疫療法の開発</li> <li>13 脊髄機能再生に関する研究</li> <li>14 スポーツ障害と外傷の予防と治療</li> <li>15 慢性疼痛に対する有効な治療法の確立</li> </ol>
	脳神経外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 もやもや病の遺伝子解析</li> <li>2 3D CTAやEPI を用いた functional MRI などの新しい画像診断システムの開発</li> <li>3 脳健診による脳疾患の予防的治療法の確立</li> <li>4 グリオーマの免疫療法の研究</li> <li>5 脊髄損傷の基礎研究</li> <li>6 血管内手術の基礎的研究</li> <li>7 脳動脈瘤の遺伝子解析</li> <li>8 神経幹細胞移植に関する研究</li> <li>9 脊髄誘発電位の臨床応用</li> <li>10 神経損傷時の再生に関する研究</li> <li>11 神経内視鏡を用いた低侵襲手術法の開発</li> <li>12 術中脳腫瘍標識法の基礎的研究</li> <li>13 未破裂脳動脈瘤のリスクコミュニケーション研究</li> <li>14 リスクマネージメント研究</li> </ol>
	産婦人科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 婦人科癌の浸潤・転移機構の解析</li> <li>2 婦人科癌の遺伝子解析と遺伝子診断</li> <li>3 卵巣黄体機能の研究</li> <li>4 子宮頸部腺癌に特異的な蛋白の同定</li> <li>5 子宮内膜癌の癌化における細胞接着蛋白の役割</li> <li>6 子宮頸癌とヒトパピローマウイルスの研究</li> <li>7 婦人科疾患の超微形態学的研究</li> <li>8 子宮内膜症の分子生物学的検討</li> <li>9 卵巣癌での薬剤耐性克服</li> <li>10 婦人科癌の病理形態と悪性度に関する研究</li> </ol>
	小児科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウイルス性胃腸炎に関する研究</li> <li>2 RSウイルス感染症に関する研究</li> <li>3 サイトメガロウイルス感染症に関する研究</li> <li>4 クラミジア感染症に関する研究</li> <li>5 小児神経筋疾患に関する研究</li> <li>6 小児難治性てんかんに対する迷走神経刺激療法</li> <li>7 新しいカテーテルインターベンション法の開発</li> <li>8 川崎病の原因に関する研究</li> <li>9 パルボウイルス B 19 感染症に関する研究</li> <li>10 造血細胞移植に関する研究</li> <li>11 腫瘍免疫療法に関する研究</li> </ol>
	眼科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 網膜変性症の病態及び治療研究</li> <li>2 正常眼圧緑内障の病態に関する研究</li> <li>3 斜視・弱視の手術方法や予後に関する臨床研究</li> <li>4 ボツリヌス毒素を用いた外眼筋麻痺の治療に関する研究</li> <li>5 眼科領域におけるMRスペクトロスコピー法の開発</li> <li>6 眼内循環に及ぼす薬理作用に関する研究</li> </ol>
皮膚科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 皮膚メラニン機構の生物学的・分子生物学的機序の解明</li> <li>2 メラニン形成関連遺伝子の標的シグナルの解明</li> <li>3 皮膚癌・悪性黒色腫の化学療法、放射線療法に対する標的分子治療法の確立</li> <li>4 皮膚色素異常症の病態・治療法の分子生物学的アプローチ</li> <li>5 皮膚創傷治癒の生物学的・分子生物学的機序の研究</li> <li>6 汗腺の構造と機能に関する研究</li> <li>7 紫外線生物学と皮膚の免疫に関する研究</li> <li>8 ウイルスベクターを用いたメラノーマ遺伝子治療の基礎的研究</li> <li>9 皮膚ウイルス感染症の病態に関する研究</li> </ol>	

臨	泌尿器科学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 男子性機能の研究</li> <li>2 男子不妊症の成因と治療の研究</li> <li>3 泌尿生殖器腫瘍学</li> <li>4 癌免疫</li> <li>5 前立腺肥大症の発症機序と尿水力学の研究</li> <li>6 尿路・性器感染症の疫学、発生機序と治療の研究、特に尿路粘膜免疫学</li> <li>7 尿路再生・再建医学</li> <li>8 腎移植・移植免疫</li> </ul>
	耳鼻咽喉科学座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 高度感音性難聴に対する人工内耳に関する研究</li> <li>2 扁桃の免疫学的機能に関する研究</li> <li>3 病巣性扁桃炎の発症機序に関する研究</li> <li>4 上気道粘膜免疫に関する研究</li> <li>5 小児中耳炎の病態、治療法に関する研究</li> <li>6 鼻アレルギーの病態に関する研究</li> <li>7 頭頸部腫瘍・悪性リンパ腫に関する研究</li> <li>8 睡眠時無呼吸症候群の病態に関する研究</li> <li>9 音声言語機能に関する研究</li> </ul>
床	神経精神医学座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 アルコール・依存形成薬物による脳神経回路網の変異および神経幹細胞機能に関する研究</li> <li>2 神経新生と神経回路網からみた内因性精神疾患（気分障害・統合失調症）の発症と病態に関する研究</li> <li>3 アルツハイマー病の病態並びに治療法開発（新規向知性薬の探索）に関する研究</li> <li>4 ヒト高次認知機能と視空間成立機構に関する神経心理学的研究</li> <li>5 摂食障害の病態解析：低栄養がひきおこす脳神経回路網障害と嗜癪行動の関連性に関する研究</li> <li>6 国際ネットワークに基づくブレインバンクの構築に関する研究</li> <li>7 ニコチン依存の心理社会的影響に関する調査</li> <li>8 集団精神療法および自助グループに関する臨床研究</li> <li>9 コンサルテーション・リエゾン精神医学（緩和医療も含む）に関する研究</li> </ul>
医	放射線医学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt; IVR &gt; 部門</li> <li>1 悪性腫瘍に対する非手術的治療法に関する研究</li> <li>2 悪性腫瘍の進展度に関する画像診断を用いた研究</li> <li>3 手術と非手術的治療を組み合わせた悪性腫瘍に対する治療法の研究</li> <li>4 悪性腫瘍に対するIVRおよび化学・放射線併用療法の研究</li> <li>5 集束超音波エネルギーを用いた悪性腫瘍の治療法の研究</li> <li>&lt; 核医学部門 &gt;</li> <li>1 非線形コンパートメントモデルによる肝機能、肝予備能推定研究</li> <li>2 ネットワークによる核医学D I C O Mデータの最適化に関する研究</li> <li>&lt; 治療部門 &gt;</li> <li>1 腫瘍関連抗原の発現に対する放射線の効果に関する研究</li> <li>2 放射線によるアポトーシスの分子機構に関する研究</li> <li>3 癌細胞固有の放射線感受性を決定する分子機構に関する研究</li> <li>&lt; 診断部門 &gt;</li> <li>1 M R I による流速測定の研究</li> <li>2 肝陰性造影剤を使用したM R Iの至適撮像プロトコルの研究</li> <li>3 M R I による内耳描出に関する研究</li> <li>4 M R mammography と病理組織像の比較研究</li> <li>5 M R angiography による微小血管描出に関する研究</li> <li>6 C T angiography と血管造影像との比較研究</li> <li>7 ヨード造影剤投与による生理学的血行動態変化に関する研究</li> <li>8 ヨード造影剤の遅発性副作用に関する臨床調査・研究</li> <li>9 三次元画像処理法の開発・研究</li> <li>10 医用デジタル画像保管ネットワークに関する実験・研究</li> <li>11 遠隔地画像診断実用化に関する研究</li> </ul>
部	麻酔学講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 中枢神経系における各種麻酔薬の作用機序</li> <li>2 脊髄における鎮痛機序</li> <li>3 筋弛緩薬の各部位での作用効果</li> <li>4 虚血心、培養心筋、摘出心筋を用いての各種麻酔薬の作用機序</li> <li>5 各種麻酔薬の血管、気管平滑筋、横隔膜、喉頭筋群に及ぼす作用効果と機序</li> <li>6 敗血性ショックにおける体液性因子の影響</li> <li>7 生体侵襲に対する生体管理学</li> </ul>
門	地域医療総合座	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 Common diseases の診断とマネジメントの研究</li> <li>2 診療行為の有効性と効率性の評価の研究</li> <li>3 医療における心理社会倫理的側面の研究</li> <li>4 医学教育に関する研究</li> <li>5 地域医療に関する研究</li> </ul>

臨 床 医 学 部	臨床検査医学 講 座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生体のストレス応答に関する研究</li> <li>2 生体内微量活性物質（サイトカイン等）の高感度検出法に関する研究</li> <li>3 消化器癌および造血器悪性腫瘍の遺伝子診断法に関する研究</li> <li>4 細胞の不死化・老化に関する研究</li> <li>5 アポトーシス制御機構の解析に基づいた癌治療効果増強に関する研究</li> <li>6 輸血検査の精度向上に関する研究</li> <li>7 抗菌薬の作用機序に基づいた効果増強に関する研究</li> <li>8 遺伝子タイピングによる院内感染対策に関する研究</li> </ol>
	口腔外科学講座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 口蓋形成手術前後の鼻咽喉機能と口蓋形態並びに、それに基づく手術法及び、顎裂部に対する骨移植に関する研究</li> <li>2 口腔癌の細胞接着分子に関する研究</li> <li>3 口腔癌の組織学的悪性度に関する研究</li> <li>4 口腔癌の間質反応に関する研究</li> <li>5 口腔癌治療経過における細胞性免疫能に関する研究</li> <li>6 口腔癌治療経過における癌細胞増殖能に関する研究</li> <li>7 口腔癌の遺伝子診断及び遺伝子治療に関する研究</li> <li>8 顎骨骨折患者の咬合咀嚼機能の回復に関する研究</li> <li>9 顎関節症、顎変形症患者における咀嚼筋の生理機能に関する研究</li> </ol>
	神 経 内 科 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Guillain-Barre症候群などの免疫性神経疾患の病態と<i>H.pylori</i>感染との関連と りわけ髄液中に検出される抗空胞化毒素抗体の標的分子の検索と分子生物学的、 免疫学的役割</li> <li>2 諸種神経疾患の病態と血清・髄液中抗HSP抗体の関連性 抗HSP抗体による、分子シャペロン及び免疫調整因子としての人HSPの機能的修飾</li> <li>3 多発性硬化症（MS）患者における、<i>MxA</i>蛋白調節領域のsingle nucleotide poly- morphisms（SNP）解析および<i>MxA</i>の機能解析</li> <li>4 痴呆性変性疾患における高次機能障害と脳機能画像との対比検討</li> <li>5 神経変性疾患の呼吸障害の機序の解明とその対策のための臨床的ガイドラインの 作成</li> <li>6 横隔神経伝導速度検査と横隔膜針筋電図の臨床応用</li> <li>7 正中神経のpalmar branchの電気生理学的評価法の開発</li> <li>8 アクチグラフを用いたパーキンソン病の夜間症状の解析</li> <li>9 磁気刺激の疼痛治療への応用</li> <li>10 針筋電図と筋病理所見との対応</li> </ol>
	産科周産期科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 卵巣過剰刺激症候群と血管内皮増殖因子に関する研究</li> <li>2 卵膜の感染防御と子宮内感染に関する研究</li> <li>3 出生前診断に関する研究</li> <li>4 産褥子宮復古とマトリックスメタロプロテナーゼに関する研究</li> <li>5 糖代謝異常妊娠の基礎と臨床</li> <li>6 子宮内胎児発育遅延妊娠での胎盤異常の分子生物学的研究</li> <li>7 環境ホルモンが異常妊娠に与える影響</li> </ol>
	形 成 外 科 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 組織移植による集学的治療についての臨床研究</li> <li>2 凍結皮膚保存法についての基礎研究と熱傷患者への臨床応用</li> <li>3 同種皮膚移植における局所免疫抑制剤についての研究</li> <li>4 Tissue engineeringを用いた人工皮膚の開発についての研究</li> <li>5 ケロイドと肥厚性瘢痕についての基礎的・臨床的研究</li> <li>6 顔面組織再建法の開発</li> <li>7 軟骨移植に関する基礎的・臨床的研究</li> </ol>
	医 療 薬 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医薬品による致命的循環器系副作用（QT延長症候群）に関する研究</li> <li>2 臨床薬理遺伝学に基づくテーラーメイド薬物療法に関する研究</li> </ol>
	機 器 診 断 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 画像医学、生理生体検査医学、無侵襲生体計測学</li> <li>2 超音波医学、臨床超音波工学</li> <li>3 内視鏡診断と内視鏡下治療</li> <li>4 生体信号地図に基づく循環電気生理学的研究</li> <li>5 三次元画像処理、virtual realityの臨床応用、多元画像診断</li> <li>6 画像認識と画像の計算機診断</li> <li>7 知的画像診断支援</li> <li>8 画像診断の客観評価</li> <li>9 遠隔医学</li> <li>10 医療情報学、病院情報システム学</li> </ol>
	病 理 診 断 学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 腫瘍の形態形成および悪性度に関する遺伝子異常の解明</li> <li>2 病理診断上有用な免疫組織化学染色マーカーの検討</li> <li>3 新しい分子病理診断法の導入</li> <li>4 骨軟部腫瘍の組織学的悪性度および予後因子の探索</li> <li>5 悪性腫瘍の治療標的分子となる特異的遺伝子異常の解析</li> <li>6 脊索由来病変の再分類と脊索腫発生機序の解析</li> <li>7 転移性脊椎腫瘍診断に関する臨床病理学的検討</li> </ol>

臨床 医 学 部 門	リハビリテーション医学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 高次脳機能障害に対する認知リハビリテーション</li> <li>2 動作、行為、行動に関わる神経機構解明</li> <li>3 パーソナルコンピュータを用いた認知機能評価システム作成</li> <li>4 疼痛の病態生理とコントロール</li> <li>5 歩行障害の運動学的解析</li> <li>6 神経筋疾患に対する車いすシーティング</li> </ul>
	救急集中治療医学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 蘇生後脳症および重症頭部外傷に対する脳低温療法の臨床的研究</li> <li>2 人工心肺を用いた選択的脳低温療法の基礎的研究</li> <li>3 心肺停止症例に対する人工心肺を用いた心肺脳蘇生法の臨床的研究</li> <li>4 人工心肺を用いた心肺脳蘇生法に関する基礎的研究</li> <li>5 多臓器不全および敗血症性ショックの病態生理並びに治療に関する研究</li> <li>6 高度侵襲時の生体防御反応に関する分子生物学的研究</li> <li>7 重症患者における急性血液浄化法に関する基礎的、臨床的研究</li> <li>8 ARDSに関する分子生物学的研究</li> <li>9 ARDSにおけるサーファクタントの研究</li> <li>10 航空機による救急搬送体制の研究</li> <li>11 災害医療に関する研究</li> </ul>
教 養 科 目	哲学・倫理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医学哲学・生命倫理学研究</li> <li>2 科学論研究</li> <li>3 19世紀以降のヨーロッパ思想史の研究</li> </ul>
	心理学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 心臓血管系血行力学および自律神経調節機能の無侵襲計測に関連する心理生理学的研究</li> <li>2 心理社会的ストレスに関する心理生理学的研究</li> <li>3 ストレスマネジメントの心理生理学的研究</li> </ul>
	法学・社会学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 権利論、正義論を中心とした法理論の基礎的研究</li> <li>2 生命誕生や死の迎え方など生命倫理に関する基礎的テーマについての研究</li> <li>3 医療におけるリスクマネジメント、再生医療をめぐる生命・医療倫理</li> </ul>
	数 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 統計データ解析</li> <li>2 微分方程式の漸近理論</li> </ul>
	物 理 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 放射線防護と緊急被曝医療</li> <li>2 放射線医学物理</li> <li>3 膜タンパク質の存在様式の電子顕微鏡による研究</li> </ul>
	化 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 脳組織の修飾糖脂質の構造解析に関する研究</li> <li>2 アポトシス誘引脂質の合成酵素に関する研究</li> <li>3 カルモジュリンの立体構造のX線解析による解析研究</li> </ul>
	生 物 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 遺伝子の転写制御と肉腫の分子病態に関する研究</li> <li>2 皮膚色素細胞の光応答の分子機構に関する研究</li> <li>3 動物の体色と行動発現の生理的作用機序の研究</li> <li>4 線虫類の系統分類学・生態学的研究</li> </ul>
	情 報 科 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 眼球モデルを用いた血液網膜柵の透過性機能に関する研究</li> <li>2 軟X線デジタル画像を用いたラットの骨密度・総骨塩量などの計測に関する研究</li> </ul>
	英 語	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 英国ヴィクトリア朝の文学</li> <li>2 認知言語学・類型論</li> </ul>
	運 動 科 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 生活習慣病の予防および体力の維持・増進への運動と栄養の効果に関する研究</li> <li>2 高齢者のADL低下抑制と体力、身体活動の関係についての研究</li> <li>3 アスリートのライフマネジメント、ならびに摂食障害に関する研究</li> </ul>
教育 研究 機 器 セ ン タ ー	分子医学研究部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 遺伝子治療のための基盤技術の開発</li> <li>2 がんに対する遺伝子治療法の開発</li> <li>3 難治疾患に対する再生治療・遺伝子治療</li> <li>4 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用</li> </ul>
	分子機能解析部門	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索</li> <li>2 アルツハイマー病の診断システムの開発</li> <li>3 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発</li> <li>4 癌の治療応答性検出システムの開発</li> <li>5 システム理論によるヒューマンインターフェースの研究</li> </ul>

動物実験施設部		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 遺伝子操作動物を用いた疾患の発病機序解析</li> <li>2 ライム病およびマダニ媒介性疾患の疫学と発病機序</li> <li>3 嫌気性菌による炎症病変の惹起機構</li> <li>4 大腸菌O157による腸管病変の発病機序</li> <li>5 Helicobacter pyloriによる消化性潰瘍の発病機序解析</li> </ol>
がん研究所	生化学部門	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 非受容体型タンパク質チロシナーゼ、CAK、の活性化機序とシグナル伝達における役割に関する研究</li> <li>2 焦点接着に局在するタンパク質、Hic-5、の機能に関する研究</li> <li>3 軸索ガイダンス分子セマフォリンの神経回路形成過程における機能解析</li> <li>4 細胞周期チェックポイントに關与するヒトRad9蛋白質の機能発現とその解析</li> </ol>
	分子生物学部門	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヒト癌の発生機序の解明</li> <li>2 がん関連遺伝子の機能の解明</li> <li>3 p53標的遺伝子の単離と機能解析、p53およびそのファミリー遺伝子群の機能解析</li> <li>4 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析</li> <li>5 Ewing肉腫/PNETの発生機序、ETS群遺伝子とがん細胞の浸潤・転移</li> <li>6 ウイルスベクターを用いたがんの遺伝子治療の基礎研究</li> <li>7 癌における後成的遺伝子修飾の解析</li> </ol>
	分子病理病態学部門	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝臓の再構築に関する研究</li> <li>2 幹（前駆）細胞に関する研究</li> <li>3 細胞接着に関する研究</li> <li>4 細胞外基質と疾患に関する研究</li> <li>5 人工肝臓の基礎的研究</li> </ol>
臨海医学研究所		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 海洋生物由来抗腫瘍及び免疫抑制物質に関する研究</li> <li>2 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析</li> <li>3 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索</li> <li>4 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究</li> <li>5 抗原提示細胞における抗原提示機構に関する解析</li> </ol>

## イ 保健医療学部

看護学	基礎・臨床医学座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ウイルス感染腫瘍の分子病理学的研究</li> <li>2 消化器癌の転移に関する研究および消化器癌術後の病態生理に関する研究</li> <li>3 化学物質の職業暴露による生殖毒性影響、神経行動機能影響に関する研究</li> <li>4 超音波の生体に及ぼす影響に関する研究</li> <li>5 保健医療情報管理に関する研究</li> </ol>
	看護学第一講座	<p>&lt; 基礎看護学 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 看護倫理教育に関する研究</li> <li>2 看護技術の習得過程における教授学的研究</li> <li>3 ストレスに対する心血管系の反応に関する研究</li> </ol> <p>&lt; 成人看護学 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 救急看護教育に関する研究</li> <li>2 ストレスと生体応答に関する研究</li> <li>3 リラクゼーション（腹式呼吸およびその他の技法）の介入に関する研究</li> <li>4 ターミナルケアに関する研究</li> <li>5 慢性病患者の病いに関する研究</li> </ol>
	看護学第二講座	<p>&lt; 母性看護学 / 小児看護学 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 周産期女性の心理社会的要因に関する研究</li> <li>2 母性看護学実習に関する研究</li> <li>3 子育て支援の実践</li> <li>4 慢性疾患をもつ小児と家族への看護援助に関する研究</li> <li>5 小児の遊びと発達支援に関する研究</li> <li>6 病児へ医療処置を説明することとプレパレーション</li> <li>7 病児をもつ保護者への健康と禁煙支援</li> </ol>

看護学	看護学第三講座	<p>&lt;地域看護学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎教育における保健師の技術教育に関する研究</li> <li>2 保健師活動の理論と実践に関する研究</li> <li>3 保健師のキャリア発達に関する研究</li> <li>4 育児支援に関する研究</li> <li>5 精神障害者の家族支援に関する研究</li> <li>6 生活習慣病予防に関するライフスタイルの研究</li> <li>7 コミュニティ・アセスメントに関する研究</li> <li>8 地域看護活動におけるマルチメディア活用についての研究</li> <li>9 海外渡航者の健康に関する研究</li> <li>10 社会的健康被害者に関する研究</li> </ol> <p>&lt;老人看護学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 可動性が低下した高齢者への看護援助に関する研究</li> <li>2 認知症高齢者の看護援助に関する研究</li> <li>3 高齢者の生きがいに関する研究</li> <li>4 老後の健康管理に関する研究</li> </ol> <p>&lt;精神看護学&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 精神障害者を成員とする家族に関する研究</li> <li>2 児童虐待における看護援助に関する研究</li> <li>3 自死遺族のSpiritual Careに関する研究</li> <li>4 患者 - 看護師関係に関する研究</li> <li>5 夫婦間暴力と女性の精神的健康に関する研究</li> <li>6 成人女性のアイデンティティ形成に関する研究</li> </ol>
	理学療法	<p>基礎理学療法学座</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動習慣とNK細胞活性に関する研究</li> <li>2 北海道の古人骨の研究</li> <li>3 姿勢制御と歩行動作に関するバイオメカニクス的研究</li> <li>4 高齢者における姿勢保持に関する研究</li> <li>5 筋肉及び末梢神経に関する運動療法のエビデンス解析</li> <li>6 高齢者の運動機能と健康の関係</li> <li>7 骨格筋の機能解剖学的研究</li> </ol>
法医学	臨床理学療法学座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 脊柱関節障害の運動学的研究、マニュアルセラピーの効果に関する研究</li> <li>2 骨格筋の萎縮・肥大に関する研究、義肢・装具の適用の研究</li> <li>3 スポーツ外傷障害の予防と治療そしてリハビリテーションに関する研究</li> <li>4 脳卒中の運動障害に関する臨床解剖学的研究</li> <li>5 運動発達遅滞児および障害児の運動学的神経学的研究</li> <li>6 呼吸理学療法の効果に関する臨床的研究</li> <li>7 超音波画像診断を応用した運動器障害理学療法診断に関する研究</li> </ol>
作業療法	基礎作業療法学座	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 身体障害に対する作業療法の評価及び治療効果に関する研究</li> <li>2 日常生活動作に関する手指動作の解析</li> <li>3 麻痺肢の運動機能解析</li> <li>4 高齢障害者に対する作業療法の研究</li> <li>5 地域・在宅における作業療法の方策に関する研究</li> <li>6 遺伝性神経筋疾患の分子遺伝学的研究</li> </ol>
	法医学	臨床作業療法学座
一般教育	物理学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 蛋白質タンデムリピートの構造、機能および分子進化に関する研究</li> <li>2 X線溶液散乱及び核磁気共鳴測定による蛋白質の立体構造研究</li> </ol>
	化学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 食細胞の生体防御機能の研究</li> <li>2 非侵襲画像診断法の開発</li> </ol>
	英語	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 関連性理論に基づく発話の解釈</li> <li>2 英語基本動詞の意味構造についての研究</li> <li>3 言語接触と変異 - スコットランドの言語社会を中心として -</li> </ol>
	生物	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 細胞機能発現におけるジアシルグリセロールキナーゼアイソザイムの役割</li> <li>2 ビタミンB<sub>12</sub>の栄養学に関する研究</li> <li>3 青年期の健康にかかわる調査とそれを基にした「食教育」に関する研究</li> </ol>
	情報科学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 遠隔保健医療（テレヘルス）システムの構築に関する研究</li> <li>2 デジタル映像処理と医療・保健応用に関する研究</li> </ol>
	心理学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳幼児の情動発達と他者理解に関する研究</li> </ol>
	社会学	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 アジアにおけるHIV/AIDS対策に関する医療人類学的研究</li> <li>2 グローバル・ヘルス領域における企業活動に関する文化人類学的研究</li> <li>3 日本とアメリカにおける多文化医療教育カリキュラムに関する学際研究</li> </ol>

## (10) 国際交流

### ア 北方医学交流

北方圏諸国の諸大学の医学研究者との相互派遣を通じて学術交流を推進し、北方圏諸国にふさわしい医学の教育機関として相互発展を図るとともに、道民の保健医療の向上に寄与することを目的としている。

また、平成11年度から、学生が国際的な視野を広げ、将来の活動の基礎を築くことをねらいとし、学生の海外派遣を実施している。

	フィンランド	カナダ		中国	アメリカ
協定締結先	パウロ財団 (ヘルシンキ、トゥルク、オウル、 タムペレ、ウツェオ大学)	アルバータ大学	カルガリー大学	中国医科大学	マサチューセッツ 州立大学
開始年度	1977	1983	1984	1982	1994
現協定期限	H14.5-19.5	H17.11-20.10	H17.7-20.6	H16.4-19.3	H16.4-19.3
派遣協定人数 (年間)	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(2週間)
派遣総数	28名	32名	29名	39名	21名
受入協定人数 (年間)	1名(1~2ヶ月)	1名(6週間)	1名(2週間) 1名(6週間)	1名(15日間)	1名(2週間)
受入総数	28名	29名	31名	39名	9名
その他の協定の概要	・旅費は派遣大学、滞在費は受入大学が負担する。 (アルバータ大学及びマサチューセッツ州立大学においては、旅費と滞在費を派遣大学が負担し、 受入大学側は適当な宿泊施設を手配する) ・研究成果の報告書の作成が必要。				
学生派遣		語学研修 15年度 中止 16年度 中止 17年度 12名	臨床研修(血液学) 15年度 2名 16年度 4名 17年度 4名		

### イ 訪問教授・訪問研究員の受入れ

学術研究の交流を図り、科学技術の進展に寄与するため、他の研究機関等に所属する者が本学での研究を希望するときは、所属長の推薦に基づき、訪問教授または訪問研究員として受入れている(日本人、外国人の区別はない)。

この場合、必要な費用は本人又は相手側の所属機関が負担し、本学は研究指導等の便宜を図るものとしている。

従って、毎年の受入れ人数、期間等の制限はないが、受入れ講座等の事情により限度がある。

・最近の外国からの受け入れ状況

平成13年度 12名、平成14年度 15名、平成15年度 18名、平成16年度 13名、平成17年度 17名

### ウ 国際医学交流センター

本学における国際交流をさらに進めるための施設として、国際医学交流センターを整備している。

(1) 会議室(1室)、研修室(2室) セミナーや共同研究に使用する。(研修室の1室は、茶会などにも利用できる和室)

(2) 多目的ホール(2室) 国際友好・交流に使用する多目的ホール

(3) 宿泊室(シングル3室、ツイン1室) 外国人研究者が利用できる宿泊室

### エ 教員在外研究等

国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数		国名・地域	派遣者数	
	17年度	16年度		17年度	16年度		17年度	16年度		17年度	16年度
アメリカ	9	10	イタリア	4	2	ルーマニア	1	1	モロッコ	2	0
ドイツ	9	13	インド	1	2	バングラデシュ	1	1	南アフリカ	1	0
カナダ	17	12	インドネシア	1	2	プエルトリコ	0	1	カタール	1	0
中国	7	11	チェコ	2	2	ベトナム	4	1	マニラ諸島	1	0
イギリス	6	8	ハンガリー	0	2	ベルギー	0	1	スウェーデン	3	0
フランス	7	8	フィンランド	4	2	マレーシア	2	1	スリランカ	3	0
オーストラリア	1	7	ポルトガル	2	2	ロシア	0	1	デンマーク	2	0
ギリシャ	4	7	モンゴル	0	2	アイルランド	1	0	マケドニア	1	0
韓国	9	5	エクアドル	0	1	オランダ	3	0	ラオス	3	0
タイ	2	5	エジプト	0	1	デンマーク	2	0			
台湾	2	5	カンボジア	0	1	ザンビア	1	0			
オーストリア	8	3	スイス	5	1	フィリピン	3	0			
シンガポール	1	3	スペイン	1	1	ノルウェー	1	0	合計	22	21



(11) 標本館

標本館は医学・生物学的標本及び関連資料を総合的に収集、製作、保存し、それらを系統的に展示し、本学の教育、研究に資することを目的として昭和47年4月に開館した。

近年コ・メディカル関係の教育機関が増加したのに伴い、これらの生徒に対しても見学実習のための利用に応じている。

また、「標本館だより」を毎年定期的に発行、学内配付のほか、全国の関係機関に送付している。

ア 歴代館長

昭和47年 4月27日 - 昭和49年 3月31日	三橋 公平	(解剖学第二講座教授)
昭和49年 4月 1日 - 昭和53年 3月31日	八十島 信之助	(法医学講座教授)
昭和53年 4月 1日 - 昭和57年 3月31日	菊地 浩吉	(病理学第一講座教授)
昭和57年 4月 1日 - 昭和61年 3月31日	山崎 英雄	(生物学教授)
昭和61年 4月 1日 - 昭和63年 3月31日	森 道夫	(病理学第二講座教授)
昭和63年 4月 1日 - 平成 2年 3月31日	百々 幸雄	(解剖学第二講座教授)
平成 2年 4月 1日 - 平成 7年 3月31日	高橋 杏三	(解剖学第一講座教授)
平成 7年 4月 1日 - 平成11年 3月31日	森田 匡彦	(法医学講座教授)
平成11年 4月 1日 - 平成 16年 3月 31日	佐藤 昇志	(病理学第一講座教授)
平成16年 4月 1日 - 平成 18年 3月 31日	澤田 典均	(病理学第二講座教授)
平成18年 4月 1日 - 現 在	辰巳 治之	(解剖学第一講座教授)

イ 概況

(平成18年4月1日現在)

資 料 区 分	点 数
肉 眼 標 本	85
解 剖 学	405
病 理 学	469
薬 理 学	273
法 医 学	48
皮 膚 科 学	50
放 射 線 医 学	7
寄 生 虫 学	46
生 物 学 他	25
模 型	37
解 剖 学	5,658
生 物 学	4,080
解 剖 学	30,174
病 理 学	4
法 医 学	40
投 影 用 ス ラ イ ド	40
内 科 学	101
大 切 片 標 本	105
脳 神 經 外 科 学	50
眼 科 学	1,364
皮 膚 科 学	470
病 理 学	104
医 療 機 器 ・ 医 療 機 具	64
内 科 学 ・ 一 般 外 科 学 他	837
視 聴 覚 資 料	418
解 剖 学 ・ 眼 科 学 ・ 内 科 学 他	418
図 書	418
臨 床 X 線 写 真 診 断 学 大 系	418
古 医 書 ・ 一 般 医 学 関 係 書	418
そ の 他 の 医 学 資 料	418
大 学 資 料 ・ 眼 科 学 他	418
合 計	44,914

ウ 利用状況

(平成17年度 単位：人)

利 用 の 内 訳	見 学	情 報 機 器 の 使 用	顕 微 鏡 の 使 用	ビ デ オ 教 材 の 使 用	セ ミ ナ ー 自 習
学 内	178	80	87	1	15
教 職 員	178	80	87	1	15
学 生	326	510	0	5	1,039
学 外	3,071	0	12	1,607	38
医 療 関 係 者	3,071	0	12	1,607	38
計	3,575	590	99	1,613	1,092

## 2 学 事 事 項

### (1) 学生に関する事項

#### ア 年度別志願者及び入学者数

年 度	専 門 課 程			進 学 課 程			医 学 部			保 健 医 療 学 部			備 考
	志願者数 A	入学者数 B	志願者倍率 A/B	志願者数 C	入学者数 D	志願者倍率 C/D	志願者数 E	入学者数 F	志願者倍率 E/F	志願者数 G	入学者数 H	志願者倍率 G/H	
昭和25年度	69	44	1.57										
昭和26年度	170	41	4.15										
昭和27年度	183	45	4.07										
昭和28年度	232	65	3.57										
昭和29年度	300	66	4.55										
昭和30年度	332	66	5.03										
昭和31年度	401	66	6.08										昭和30年度から 進学課程教育を北 大に委託した
昭和32年度		65											
昭和33年度		59		951	66	14.41							
昭和34年度		58		996	66	15.09							昭和32年度から 北大への委託生が 進学した
昭和35年度				995	68	14.63							
昭和36年度				878	71	12.37							
昭和37年度				941	67	14.04							
昭和38年度				957	87	11.00							
昭和39年度				1,322	87	15.20							昭和33年度に進 学課程が設置され た
昭和40年度				1,566	81	19.33							
昭和41年度				1,924	79	24.35							
昭和42年度				390	87	4.48							
昭和43年度				674	80	8.43							昭和34年度で北 大への委託を終了 した
昭和44年度				709	84	8.44							
昭和45年度				989	80	12.36							
昭和46年度				860	85	10.12							
昭和47年度				832	80	10.40							昭和54年度から 進学課程及び専門 課程が廃止され6 年間一貫教育体制 となった
昭和48年度				810	86	9.42							
昭和49年度				778	100	7.78							
昭和50年度				868	100	8.68							
昭和51年度				683	99	6.90							
昭和52年度				840	97	8.66							
昭和53年度				793	100	7.93							昭和54年度から 大学入学者の選抜 は、共通第1次学 力試験と札幌医科 大学の第2次学力 試験により行われ た
昭和54年度							483	100	4.83				
昭和55年度							314	100	3.14				
昭和56年度							355	101	3.51				
昭和57年度							362	100	3.62				
昭和58年度							517	100	5.17				
昭和59年度							495	100	4.95				
昭和60年度							354	100	3.54				
昭和61年度							357	100	3.57				昭和62年度から 国公立大学の受験 機会の複数化が実 施された
昭和62年度							729	105	6.94				
昭和63年度							655	100	6.55				
平成元年度							536	103	5.20				
平成2年度							589	100	5.89				平成2年度から大 学入試センター試 験実施
平成3年度							521	101	5.16				
平成4年度							603	100	6.03				
平成5年度							506	100	5.06	932	95	9.81	
平成6年度							777	104	7.47	490	98	5.00	平成5年度に保健 医療学部が設置さ れた
平成7年度							563	98	5.74	422	98	4.31	
平成8年度							638	101	6.32	372	96	3.88	
平成9年度							1,042	99	10.53	410	96	4.27	
平成10年度							848	100	8.48	466	96	4.85	平成9年度から入 学者選抜の方法が 分離分割方式とな り、受験機会が複 数化された
平成11年度							799	100	7.99	404	97	4.16	
平成12年度							1,153	100	11.53	435	95	4.58	
平成13年度							809	100	8.09	457	97	4.71	
平成14年度							972	100	9.72	411	97	4.24	
平成15年度							941	100	9.41	427	96	4.45	
平成16年度							648	100	6.48	462	94	4.91	
平成17年度							912	100	9.12	452	96	4.71	
平成18年度							687	100	6.87	449	99	4.54	

#### イ 年度別志願者及び入学者数(保健医療学部編入生)

(単位:人)

入学年度	志願者数 A	入学者数 B	志願者倍率 A/B	備 考
平成8年度	29	11	2.64	平成8年度編入生受入開始別に私費外国人編入生1名
平成9年度	33	7	4.71	
平成10年度	36	11	3.27	
平成11年度	39	13	3.00	
平成12年度	36	12	3.00	
平成13年度	34	11	3.09	
平成14年度	24	7	3.43	
平成15年度	25	7	3.57	
平成16年度	30	8	3.75	
平成17年度	27	6	4.50	
平成18年度	27	2	13.50	

ウ 定員及び現員数

(平成18年5月1日現在 単位：人)

学部	学年	入学定員	1 年 年		2 年 年		3 年 年		4 年 年		5 年 年		6 年 年		計 現 員
			現 員		現 員		現 員		現 員		現 員		現 員		
医学部	医 学 科	100	101( 31)		102( 44)		100( 28)		100( 41)		103( 36)		104( 33)	610(213)	
保健 医 療 学 部	看 護 学 科		55( 51)		54( 50)		51( 49)		64( 60)					224(210)	
	編入学生数					1( 1)		4( 4)						5( 5)	
	計	50	55( 51)		54( 50)		52( 50)		68( 64)					229(215)	
	理学療法学科		22( 5)		20( 7)		22( 10)		22( 11)					86( 33)	
	編入学生数					1( 1)		1( 1)						2( 2)	
	計	20	22( 5)		20( 7)		23( 11)		23( 12)					88( 35)	
	作業療法学科		22( 12)		21( 14)		20( 10)		24( 18)					87( 54)	
	編入学生数					0( 0)		2( 0)						2( 0)	
	計	20	22( 12)		21( 14)		20( 10)		26( 18)					89( 54)	
	編入学生総計						2( 2)		7( 5)					9( 7)	
小 計	90	99( 68)		95( 71)		95( 71)		117( 94)					406(304)		
学 部 合 計		190	200( 99)		197(115)		195( 99)		217(135)		103( 36)		104( 33)	1,016(517)	
医 学 研 究 科	生 理 系	0						0( 0)						0( 0)	
	病 理 系	0						0( 0)						0( 0)	
	社 会 医 学 系	0						0( 0)						0( 0)	
	内 科 系	0						1( 0)						1( 0)	
	外 科 系	0						0( 0)						0( 0)	
	小 計	0						1( 0)						1( 0)	
	地域医療人間 総合医学	18	11( 2)		11( 2)		11( 1)		15( 6)					48( 11)	
	分子・器官 制御医学	20	13( 4)		13( 4)		16( 3)		25( 4)					67( 15)	
	情報伝達 制御医学	12	8( 3)		3( 1)		12( 5)		19( 4)					42( 13)	
	小 計	50	32( 9)		27( 7)		39( 9)		59(14)					157( 39)	
学 研 究 科	看護学	博士課程前期	12	12( 10)		11( 8)								23( 18)	
		博士課程後期	2	2( 2)		0( 0)		0( 0)						2( 2)	
	理学療法 ・作業療法	博士課程前期	12	13( 6)		12( 4)								25( 10)	
		博士課程後期	6	4( 2)		7( 3)		22( 11)						33( 16)	
	小 計	32	31( 20)		30( 15)		22( 11)							83( 46)	
大 学 院 合 計		82	63( 29)		57( 22)		61( 20)		60( 14)					241( 85)	
総 合 計		272	263(128)		254(137)		256(119)		277(149)		103( 36)		104( 33)	1,257(602)	

※ ( ) 内は女子学生数 (内数)

エ 出身地別現員数

課程	学年 出身地	1 年 年			2 年 年			3 年 年			4 年 年		
		道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計	道内	道外	小計
医 学 部	人	79	22	101	71	31	102	79	21	100	60	40	100
	%	78.2	21.8	100.0	69.6	30.4	100.0	79.0	21.0	100.0	60.0	40.0	100.0
保健医療学部	人	89	10	99	86	9	95	83	12	95	106	11	117
	%	89.9	10.1	100.0	90.5	9.5	100.0	87.4	12.6	100.0	90.6	9.4	100.0
医学研究科	人	25	7	32	18	9	27	33	6	39	44	16	60
	%	78.1	21.9	100.0	66.7	33.3	100.0	84.6	15.4	100.0	73.3	26.7	100.0
保健医療学 研 究 科	人	29	2	31	23	7	30	19	3	22			
	%	93.5	6.5	100.0	76.7	23.3	100.0	86.4	13.6	100.0			
計	人	222	41	263	198	56	254	214	42	256	210	67	277
	%	84.4	15.6	100.0	78.0	22.0	100.0	83.6	16.4	100.0	75.8	24.2	100.0

課程	学年 出身地	5 年 年			6 年 年			道内 計	道外 計	合 計
		道内	道外	小計	道内	道外	小計			
医 学 部	人	67	37	104	60	35	95	416	186	602
	%	64.4	35.6	100.0	63.2	36.8	100.0	69.1	30.9	100.0
保健医療学部	人							364	42	406
	%							89.7	10.3	100.0
医学研究科	人							120	38	158
	%							75.9	24.1	100.0
保健医療学 研 究 科	人							71	12	83
	%							85.5	14.5	100.0
計	人	67	37	104	60	35	95	971	278	1,249
	%	64.4	35.6	100.0	63.2	36.8	100.0	77.7	22.3	100.0

※出身地は、入学資格を取得した学校の所在地による

## (2) 年次別卒業生数

ア 医学部

(単位：人)

区分 卒業年次	卒業生	出身地		区分 卒業年次	卒業生	出身地		区分 卒業年次	卒業生	出身地	
		道内	道外			道内	道外			道内	道外
昭和 29 年(第 1 回)	36	22	14	昭和 49 年(第 21 回)	84	74	10	平成 6 年(第 41 回)	99	79	20
昭和 30 年(第 2 回)	41	35	6	昭和 50 年(第 22 回)	77	57	20	平成 7 年(第 42 回)	91	70	21
昭和 31 年(第 3 回)	47	41	6	昭和 51 年(第 23 回)	65	54	11	平成 8 年(第 43 回)	100	74	26
昭和 32 年(第 4 回)	66	58	8	昭和 52 年(第 24 回)	80	62	18	平成 9 年(第 44 回)	101	74	27
昭和 33 年(第 5 回)	69	60	9	昭和 53 年(第 25 回)	92	74	18	平成 10 年(第 45 回)	100	66	34
昭和 34 年(第 6 回)	58	49	9	昭和 54 年(第 26 回)	90	81	9	平成 11 年(第 46 回)	102	80	22
昭和 35 年(第 7 回)	67	54	13	昭和 55 年(第 27 回)	94	84	10	平成 12 年(第 47 回)	100	58	42
昭和 36 年(第 8 回)	62	54	8	昭和 56 年(第 28 回)	95	81	14	平成 13 年(第 48 回)	109	60	49
昭和 37 年(第 9 回)	59	35	24	昭和 57 年(第 29 回)	95	84	11	平成 14 年(第 49 回)	99	58	41
昭和 38 年(第 10 回)	59	32	27	昭和 58 年(第 30 回)	107	96	11	平成 15 年(第 50 回)	94	62	32
昭和 39 年(第 11 回)	63	54	9	昭和 59 年(第 31 回)	99	87	12	平成 16 年(第 51 回)	101	74	27
昭和 40 年(第 12 回)	65	58	7	昭和 60 年(第 32 回)	94	90	4	平成 17 年(第 52 回)	103	72	31
昭和 41 年(第 13 回)	66	54	12	昭和 61 年(第 33 回)	97	90	7	平成 18 年(第 53 回)	95	60	35
昭和 42 年(第 14 回)	62	58	4	昭和 62 年(第 34 回)	86	75	11	合 計	4,409	3,520	889
昭和 43 年(第 15 回)	62	58	4	昭和 63 年(第 35 回)	89	79	10				
昭和 44 年(第 16 回)	80	71	9	平成 元年(第 36 回)	116	96	20				
昭和 45 年(第 17 回)	74	63	11	平成 2 年(第 37 回)	92	79	13				
昭和 46 年(第 18 回)	78	63	15	平成 3 年(第 38 回)	101	85	16				
昭和 47 年(第 19 回)	73	60	13	平成 4 年(第 39 回)	99	84	15				
昭和 48 年(第 20 回)	69	55	14	平成 5 年(第 40 回)	107	87	20				

イ 保健医療学部

(単位：人)

区分 卒業年次	看護学科 卒業生数	理学療法学科 卒業生数	作業療法学科 卒業生数	卒業生数合計	出身地	
					道内	道外
平成 9 年(第 1 回)	48	21	19	88	76	12
	(3)	(3)	(3)	(9)	(8)	(1)
平成 10 年(第 2 回)	51	25	22	98	72	26
	(8)	(1)	(0)	(9)	(6)	(3)
平成 11 年(第 3 回)	61	21	20	102	71	31
	(5)	(2)	(4)	(11)	(11)	(0)
平成 12 年(第 4 回)	54	23	23	100	78	22
	(9)	(2)	(2)	(13)	(9)	(4)
平成 13 年(第 5 回)	58	22	24	104	79	25
	(8)	(2)	(2)	(12)	(8)	(4)
平成 14 年(第 6 回)	46	22	19	87	68	19
	(5)	(3)	(2)	(10)	(9)	(1)
平成 15 年(第 7 回)	57	27	24	108	93	15
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 16 年(第 8 回)	53	23	21	97	83	14
	(5)	(2)	(0)	(7)	(7)	(0)
平成 17 年(第 9 回)	52	21	23	96	83	13
	(4)	(2)	(1)	(7)	(5)	(2)
平成 18 年(第 10 回)	49	30	21	100	85	15
	(52)	(19)	(14)	(85)	(70)	(15)
合 計	529	235	216	980	788	192

※1 出身地は学位記記載の本籍地による

※2 ( ) 内は編入学生数(内数)

### (3) 国家試験合格状況

#### ア 医師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
第96回(平成14年)	99	99	99	100.0	9	8	88.9	108	107	99.1
第97回(平成15年)	94	93	93	100.0	2	0	0.0	95	93	97.9
第98回(平成16年)	101	101	98	97.0	4	2	50.0	105	100	95.2
第99回(平成17年)	103	103	97	94.2	5	4	80.0	108	101	93.5
第100回(平成18年)	95	95	94	98.9	6	6	100.0	101	100	99.0

#### イ 看護師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
第91回(平成14年)	46	46	46	100.0	0	0	—	46	46	100.0
第92回(平成15年)	50	50	49	98.0	2	2	100.0	52	51	98.1
第93回(平成16年)	48	48	48	100.0	1	1	100.0	49	49	100.0
第94回(平成17年)	47	47	47	100.0	0	0	—	47	47	100.0
第95回(平成18年)	45	45	45	100.0	0	0	—	45	45	100.0

#### ウ 保健師

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
第88回(平成14年)	54	51	49	96.1	1	1	100.0	52	50	96.2
第89回(平成15年)	57	56	56	100.0	2	2	100.0	58	58	100.0
第90回(平成16年)	53	51	51	100.0	1	1	100.0	52	52	100.0
第91回(平成17年)	52	50	46	92.0	0	0	—	50	46	92.0
第92回(平成18年)	49	48	45	93.8	2	2	100.0	50	47	94.0

#### エ 理学療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
第37回(平成14年)	24	22	22	100.0	0	0	—	22	22	100.0
第38回(平成15年)	27	24	24	100.0	0	0	—	24	24	100.0
第39回(平成16年)	23	21	21	100.0	0	0	—	21	21	100.0
第40回(平成17年)	19	19	17	89.5	0	0	—	19	17	89.5
第41回(平成18年)	30	28	27	96.4	2	2	100.0	30	29	96.7

#### オ 作業療法士

区 分	新 卒 者				既 卒 者			合 計		
	卒業生数	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
第37回(平成14年)	21	19	19	100.0	0	0	—	19	19	100.0
第38回(平成15年)	24	22	22	100.0	0	0	—	22	22	100.0
第39回(平成16年)	21	21	21	100.0	0	0	—	21	21	100.0
第40回(平成17年)	23	23	23	100.0	0	0	—	23	23	100.0
第41回(平成18年)	21	20	20	100.0	0	0	—	20	20	100.0

## (4) 研究生数

(平成18年4月1日現在 単位:人)

区分	研究科目	人数	左のうち、研究 外業務従事の 許可を受けて いる者	区分	研究科目	人数	左のうち、研究 外業務従事の 許可を受けて いる者
医学部 基礎 医学	解剖学第一	4	1	医学部 臨床 医学	内科学第一	42	30
	解剖学第二	2	1		内科学第二	34	15
	生理学第一				内科学第三	28	21
	生理学第二				内科学第四	40	30
	生化学第一				外科学第一	33	24
	生化学第二				外科学第二	6	1
	病理学第一	5			整形外科学	25	8
	病理学第二	4	1		脳神経外科学	5	
	微生物学				産婦人科学	11	6
	薬理学				小児科学	30	22
	衛生学				眼科学	17	8
	公衆衛生学	2			皮膚科学	6	1
	法医学				泌尿器科学	6	4
	がん研生化学				耳鼻咽喉科学	6	3
	がん研分子生物学				神経精神医学	16	4
	がん研分子病理病態学				放射線医学	12	
	臨海医学研究所				麻酔学	25	5
	教育研究機器センター				口腔外科学	16	7
	附属情報センター	1			臨床検査医学		
物理学	1	1	機器診断部				
生物学	1		病理部	1	1		
	基礎医学計	20	4	救急集中治療部	13	8	
保健医療学部	看護学	2	2	リハビリテーション部	2	1	
	理学療法学			神経内科	14	4	
	作業療法学			形成外科	3		
	一般教育	1		薬剤部	1	1	
	保健医療学部計	3	2	地域医療総合医学			
			臨床医学計	392	204		
			医学部計	412	208		
			合計	415	210		

## (5) 博士（医学）の学位授与者数

(単位：人)

年度	区分	本学大学院修了者								一般論文提出者	合計	
	専攻	生理系	病理系	社会医学系	内科系	外科系	地域総合医療学人間	分子・器管制御医学	情報医学達			計
昭和34年度～平成12年度		49	81	16	228	297				671	1,325	1,996
平成13年度		1			11	16				28	48	76
平成14年度		3	2		11	16				32	37	69
平成15年度			3		11	18				32	43	75
平成16年度					1	2	14	26	4	47	43	90
平成17年度							17	33	2	52	19	71
計		53	86	16	262	349	31	59	6	862	1,515	2,377

## (6) 修士及び博士の学位授与者数

(単位：人)

年度	区分	本学大学院修了者					計	
		修士課程			博士課程			
	専攻学位	看護学	理学療法学	作業療法学	理学療法学	作業療法学		
平成11年度			9	6	3		18	
平成12年度			6	4	3		13	
平成13年度			4	5	4		13	
平成14年度			8	8	3	1	3	23
平成15年度			6	2	3	2	1	14
平成16年度			6	6	7	1	1	21
平成17年度			7	7	4	1	1	20
計			46	38	27	5	6	122

### 3 附 属 病 院

#### (1) 沿 革

昭和 7年 3月28日	財団法人北海道社会事業協会附属札幌病院として開院（病床数83床）
昭和20年 4月 1日	北海道に移管され北海道立女子医学専門学校附属医院となる
昭和25年 4月 1日	札幌医科大学附属病院に名称変更（病床数278床）
昭和26年11月26日	附属病院円山分院を開設（神経精神科）
昭和28年 4月 1日	歯科外来を基礎医学校舎の一部に移転し診療設備を拡充
昭和29年12月30日	外科、整形外科病棟建築工事（最終）落成
昭和30年11月11日	本院汽缶棟建築工事落成
昭和32年 3月31日	放射線病棟建築工事落成
昭和33年 7月 1日	産婦人科その他の病棟前期工事落成
昭和34年 2月 1日	産婦人科その他の病棟後期工事落成
昭和35年 1月23日	中央病棟（内科病棟）建築工事落成
昭和37年 3月31日	新外来棟建築第1期工事落成
昭和37年 6月21日	新外来棟建築第2期工事・中央棟第1期工事落成
昭和37年 7月11日	臨床講堂新築
昭和38年 7月15日	南棟新築第1期工事落成
昭和39年 8月 3日	南棟新築第2期工事落成
昭和39年12月 1日	中央棟第2期工事落成
昭和45年 2月 1日	副院長制（2人）施行
昭和50年11月 1日	放射線管理室設置
昭和54年 5月26日	附属病院中央エックス線部が中央放射線部に名称変更
昭和55年 4月 1日	附属病院がん研究内科が第4内科に名称変更
昭和58年 7月 2日	附属病院新棟第1期工事（病棟、中央部門、管理部門）落成
昭和58年 8月 1日	中央手術部が手術部に、中央検査部が検査診断部に、中央放射線部が放射線部に、中央材料部が医療材料部に、中央理療部がリハビリテーション部に災害外傷部が救急集中治療部に名称変更。共同研究施設部中央写真室が附属病院中央写真室に改正
昭和58年 9月 6日	附属病院円山分院を閉院
昭和60年 7月 1日	附属病院新棟第2期工事（外来診療棟、救急部門、リハビリ・麻酔病棟）落成
昭和61年 4月 1日	検査診断部が廃止され、検査部、機器診断部及び病理部が設置
昭和61年 7月28日	附属病院新棟第2期工事（外構工事）完成
平成 4年 4月 1日	神経内科、形成外科を新設し、産婦人科を婦人科及び産科周産期科に改正
平成 5年 4月 1日	札幌医科大学医学部附属病院に名称変更
平成 8年 4月 1日	特定機能病院承認
平成11年 3月24日	総合診療科を新設
平成14年 4月 1日	救命救急センターを設置
平成14年10月 1日	高度救命救急センターを設置
平成15年 9月 1日	北海道リハビリテーション支援センターに指定
平成16年 4月 1日	札幌医科大学附属病院に名称変更
平成16年 9月27日	「病院機能評価」認定
平成18年 2月 1日	N I C Uを設置

#### (2) 歴代病院長

昭和25年 4月 1日	— 昭和35年 3月31日	瀧	本	庄	藏
昭和35年 4月 1日	— 昭和39年 3月31日	南	浦	邦	夫
昭和39年 4月 1日	— 昭和41年 3月31日	高	山	坦	三
昭和41年 4月 1日	— 昭和45年 3月31日	末	吉	利	三
昭和45年 4月 1日	— 昭和49年 3月31日	浜	谷	松	夫
昭和49年 4月 1日	— 昭和51年 3月31日	立	野	誠	吾
昭和51年 4月 1日	— 昭和53年 3月31日	橋	場	輝	芳
昭和53年 4月 1日	— 昭和55年 2月 8日	河	邨	文	一
昭和55年 2月 9日	— 昭和55年 2月29日	神	村	瑞	夫
昭和55年 3月 1日	— 昭和57年 3月31日	神	村	瑞	夫
昭和57年 4月 1日	— 昭和61年 2月 8日	漆	崎	一	朗
昭和61年 2月 9日	— 昭和61年 2月28日	熊	本	悦	明
昭和61年 3月 1日	— 平成 2年 2月28日	小	松	作	藏
平成 2年 3月 1日	— 平成 4年 2月 8日	小	谷		昭
平成 4年 2月 9日	— 平成 4年 2月29日	谷	内		昭
平成 4年 3月 1日	— 平成 8年 2月29日	飯	村		攻
平成 8年 3月 1日	— 平成10年 2月28日	形	浦	昭	克
平成10年 3月 1日	— 平成12年 2月29日	千	葉	峻	三
平成12年 3月 1日	— 平成14年 2月28日	工	藤	隆	一
平成14年 3月 1日	— 平成16年 2月28日	並	木	昭	義
平成16年 3月 1日	— 現 在	島	本	和	明



## (3) 患者概況

ア 年間延患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外 来 部 門			入 院 部 門		
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
第一内科		36,076	36,752	32,871	17,774	17,732	17,297
第二内科		35,231	37,331	36,319	16,542	17,432	17,284
第三内科		13,164	13,637	12,739	14,180	15,517	15,764
第四内科		21,999	21,936	23,191	17,819	19,933	22,362
神経内科		13,248	12,872	12,545	4,673	7,813	7,579
第一外科		14,816	14,877	14,177	16,769	17,511	17,857
第二外科		5,059	5,366	5,093	13,075	11,399	12,826
整形外科		25,087	27,566	28,549	15,421	17,908	18,690
脳神経外科		9,729	10,017	9,869	14,816	12,659	13,308
婦人科		19,339	18,461	17,199	14,632	11,848	15,216
産科周産期科		3,970	3,261	3,462	11,625	10,795	10,036
小児科		11,012	10,355	9,250	12,302	11,274	10,575
眼科		38,944	38,586	38,772	14,564	12,395	11,661
皮膚科		23,526	24,048	23,860	10,027	10,226	9,340
形成外科		5,087	5,507	6,110	5,123	4,989	5,742
泌尿器科		15,383	16,521	16,493	10,433	12,290	9,278
耳鼻咽喉科		25,570	25,350	24,708	14,074	14,267	13,093
神経精神科		27,329	27,231	27,483	14,945	16,118	15,873
放射線科		28,598	28,812	34,571	16,887	14,343	13,736
麻酔科		9,198	10,612	10,669	3,029	3,601	2,821
総合診療科		4,096	4,688	5,051	550	685	484
歯科口腔外科		24,973	23,665	21,322	12,362	10,610	9,026
リハビリテーション部		37,172	38,350	37,124	3,258	3,480	3,110
救急集中治療部		1,653	1,616	909	10,602	9,299	8,306
計		450,259	457,417	452,336	285,482	284,124	281,264

イ 1日平均患者数

(単位:人)

科別	部門 年度	外 来 部 門			入 院 部 門		
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
第一内科		146.7	151.2	134.7	48.6	48.6	47.4
第二内科		143.2	153.6	148.8	45.2	47.8	47.4
第三内科		53.5	56.1	52.2	38.7	42.5	43.2
第四内科		89.4	90.3	95.0	48.7	54.6	61.3
神経内科		53.9	53.0	51.4	12.8	21.4	20.8
第一外科		60.2	61.2	58.1	45.8	48.0	48.9
第二外科		20.6	22.1	20.9	35.7	31.2	35.1
整形外科		102.0	113.4	117.0	42.1	49.1	51.2
脳神経外科		39.5	41.2	40.4	33.7	34.7	36.5
婦人科		78.6	76.0	70.5	40.0	32.5	41.7
産科周産期科		16.1	13.4	14.2	31.8	29.6	27.5
小児科		44.8	42.6	37.9	33.6	30.9	29.0
眼科		158.3	158.8	158.9	39.8	34.0	31.9
皮膚科		95.6	99.0	97.8	27.4	28.0	25.6
形成外科		20.7	22.7	25.0	14.0	13.7	15.7
泌尿器科		62.5	68.0	67.6	28.5	33.7	25.4
耳鼻咽喉科		103.9	104.3	101.3	38.5	39.1	35.9
神経精神科		111.1	112.1	112.6	40.8	44.2	43.5
放射線科		116.3	118.6	141.7	46.1	39.3	37.6
麻酔科		37.4	43.7	43.7	8.3	9.9	7.7
総合診療科		16.7	19.3	20.7	1.5	1.9	1.3
歯科口腔外科		101.5	97.4	87.4	33.8	29.1	24.7
リハビリテーション部		151.1	157.8	152.1	8.9	9.5	8.5
救急集中治療部		6.7	6.7	3.7	29.0	25.5	22.8
計		1,830.3	1,882.4	1,853.8	780.0	778.4	770.6

(4) 中央部門稼働実績概況

ア 放射線部使用状況

(単位:患者数、枚数)

区分	年度	平成 15 年度			平成 16 年度			平成 17 年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
患者検査人数	単純撮影	37,960	33,989	71,949	41,830	37,264	79,094	36,937	41,300	78,237
	断層撮影	50	86	136	14	44	58	454	2,036	2,490
	造影検査	1,964	1,017	2,981	2,002	911	2,913	2,259	635	2,894
	血管造影	1,600	156	1,756	2,126	200	2,326	2,302	281	2,583
	透視のみ	237	130	367	190	111	301	0	0	0
	C T 検査	10,870	10,910	21,780	9,881	11,505	21,386	11,156	11,882	23,038
	M R 検査	1,929	4,563	6,492	1,726	4,433	6,159	2,123	4,860	6,983
	R I 検査	1,762	1,780	3,542	1,688	1,713	3,401	1,732	1,647	3,379
	乳腺撮影	87	691	778	53	720	773	672	80	752
	骨塩検査	232	904	1,136	232	959	1,191	331	1,018	1,349
	合計	56,691	54,226	110,917	59,742	57,860	117,602	57,966	63,739	121,705
フィルム使用枚数	半切	127,586	120,643	248,229	128,336	129,548	257,884			31,526
	大角	3,189	7	3,196	0	0	0			0
	大四ツ切	18,256	42,320	60,576	13,825	41,590	55,415			7,084
	四ツ切	2,493	609	3,102	1,089	287	1,376			0
	六ツ切	2,702	1,453	4,155	3,028	4,624	7,652			675
	歯科用	60	166	226	51	108	159			0
	乳腺用	253	2,784	3,037	173	2,814	2,987			3,139
	長尺	339	986	1,325	181	572	753			0
	合計	154,878	168,968	323,846	146,683	179,543	326,226			42,424
	(シネ・35mm)	45,226	305	45,531	38,672	400	39,072			0

(シネ・35mm 単位:メートル)

平成17年5月よりフィルムレス・システムに移行したため、原則的にフィルムでの出力は行っていません。  
このため、フィルムの外来・入院別集計は行っていません。

イ 検査部・機器診断部・病理部検査件数

区分	年度	平成 1 5 年度		平成 1 6 年度		平成 1 7 年度	
		件数	点数	件数	点数	件数	点数
血液検査		227,422	7,842,848	222,881	7,400,231	227,560	7,632,841
緊急検査		908,797	16,280,353	1,021,807	16,747,045	1,113,753	17,990,526
一般検査		118,100	4,417,939	125,807	4,274,143	125,473	3,795,076
輸血検査		94,490	5,827,335	85,311	4,910,553	85,486	4,470,873
細菌検査		67,830	6,460,352	63,968	6,183,619	45,547	3,969,354
生化学検査		1,852,442	42,786,114	1,794,034	38,322,870	1,603,720	36,637,438
血清検査		97,866	9,441,325	97,524	8,340,367	96,157	8,291,009
遺伝子検査		3,452	1,858,050	3,197	1,598,930	3,422	1,673,460
検体検査管理加算料		223,951	32,490,370	282,284	40,918,115	341,129	40,921,412
検査部合計		3,594,350	127,404,686	3,696,813	128,695,873	3,642,247	125,381,989
機器診断部合計		38,506	16,588,430	40,734	18,323,240	39,272	16,989,951
病理検査		16,735	8,515,140	17,048	8,705,048	17,887	9,886,530
病理診断料		5,015	1,278,825	5,486	1,398,930	10,113	2,578,815
病理部合計		21,750	9,793,965	22,534	10,103,978	28,000	12,465,345
総合合計		3,654,606	153,787,081	3,760,081	157,123,091	3,709,519	154,837,285

ウ 薬剤部調剤件数

(ア) 年間調剤延数(入院)

年度 科別	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	枚	件	剤数	枚	件	剤数	枚	件	剤数
第一内科	10,844	24,554	181,655	9,670	22,492	163,472	10,606	21,738	156,810
第二内科	10,924	26,800	212,884	11,779	28,447	227,606	12,260	31,725	235,694
第三内科	7,728	17,459	116,370	8,868	20,069	129,804	9,633	20,495	133,147
第四内科	8,713	20,174	132,610	9,861	21,134	142,051	12,299	26,869	171,076
神経内科	4,246	9,054	68,857	4,852	10,303	77,664	5,530	11,950	89,077
第一外科	10,618	17,239	96,062	11,235	18,467	105,146	12,045	19,943	109,263
第二外科	10,104	19,369	116,175	9,093	16,213	95,811	9,329	19,897	123,486
整形外科	6,417	10,890	78,147	6,918	12,053	82,412	8,036	13,172	92,997
脳神経外科	6,498	11,262	68,256	6,406	11,278	72,926	7,188	13,000	87,668
婦人科	7,434	10,829	51,691	6,318	9,458	48,795	4,722	5,997	21,421
産科周産期科	5,092	5,950	22,500	4,112	4,672	17,069	10,389	14,118	76,655
小児科	6,636	12,233	70,080	6,284	11,979	80,155	6,241	10,960	60,302
眼科	10,804	16,278	52,216	9,491	14,287	46,135	8,266	13,673	47,963
皮膚科	6,007	10,544	71,739	6,005	10,893	92,369	5,505	9,817	61,034
形成外科	2,529	4,057	21,853	2,215	3,626	22,039	2,299	3,458	19,777
泌尿器科	4,972	7,331	44,576	6,699	10,450	62,176	5,145	7,585	43,683
耳鼻咽喉科	8,028	13,712	84,883	8,769	14,732	88,793	8,291	13,184	80,880
神経精神科	8,384	20,069	129,936	8,270	20,560	143,340	8,890	21,501	146,552
放射線科	5,582	10,719	72,283	5,965	11,222	70,174	5,314	9,736	64,586
麻酔科	2,087	5,424	49,567	2,043	5,052	48,432	2,204	5,444	44,951
総合診療科	342	679	5,206	373	809	6,045	313	702	4,743
歯科口腔外科	4,453	6,363	27,836	4,370	6,204	26,860	5,233	7,065	33,013
リハビリテーション部	2,335	4,753	34,237	2,427	5,709	43,003	1,422	3,348	29,226
救急部	4,549	6,731	28,004	3,382	5,053	22,219	4,755	7,005	35,431
集中治療部	1,077	1,634	7,793	996	1,495	8,117	157	283	1,467
計	156,403	294,107	1,845,416	156,401	296,657	1,922,613	166,072	312,665	1,970,902

(イ) 年間調剤延数(外来)

年度 科別	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	枚	件	剤数	枚	件	剤数	枚	件	剤数
第一内科	1,873	11,416	250,709	1,922	10,973	245,389	2,117	12,741	278,894
第二内科	1,463	8,624	225,822	1,470	8,253	216,954	1,801	10,458	287,526
第三内科	713	4,061	85,188	654	3,515	69,967	804	4,154	78,377
第四内科	718	3,478	67,643	645	3,216	57,782	852	3,472	68,803
神経内科	501	2,383	71,255	545	2,526	75,563	529	2,315	77,267
第一外科	315	1,050	17,285	326	1,002	16,952	366	1,272	26,653
第二外科	105	678	16,302	130	785	19,367	262	1,602	37,309
整形外科	1,059	3,064	71,402	1,054	2,781	66,598	1,157	2,898	64,653
脳神経外科	635	2,404	71,865	572	2,133	66,660	700	2,182	72,423
婦人科	173	323	5,102	158	264	4,937	174	231	1,989
産科周産期科	183	257	1,974	213	308	2,077	144	222	4,150
小児科	543	1,547	33,713	396	1,048	23,639	364	1,019	23,918
眼科	1,274	2,882	22,593	1,180	2,479	15,891	1,606	3,580	25,752
皮膚科	906	2,574	30,637	921	2,473	29,731	2,064	4,473	55,156
形成外科	164	276	2,686	188	291	4,041	257	352	6,110
泌尿器科	211	365	9,660	266	520	13,908	402	633	19,336
耳鼻咽喉科	466	991	13,956	515	1,178	15,088	579	1,166	21,209
神経精神科	2,292	8,755	185,858	1,990	7,581	166,659	2,084	7,960	184,093
放射線科	60	227	3,050	49	231	4,057	63	123	2,919
麻酔科	614	4,372	76,877	881	5,417	95,378	1,543	8,574	137,606
総合診療科	141	663	12,186	177	687	12,486	147	508	9,040
歯科口腔外科	906	1,441	12,784	792	1,294	12,160	549	892	11,587
リハビリテーション部	615	2,458	40,413	686	2,592	47,815	547	2,077	41,256
救急部	74	130	558	58	91	359	61	142	971
集中治療部*									
計	16,004	64,419	1,329,518	15,788	61,638	1,283,458	19,172	73,046	1,536,997

\* 個人渡し未実施

## (ウ) 年間注射処方せん延数

科別	平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	枚	件	枚	件	枚	件
第一内科	17,113	39,012	16,024	39,502	19,429	42,812
第二内科	10,216	20,656	10,828	20,717	15,719	28,190
第三内科	9,982	24,408	11,062	27,594	13,435	29,653
第四内科	21,172	55,630	21,298	50,440	27,899	62,047
神経内科	2,211	4,216	3,165	7,579	3,363	6,420
第一外科	19,475	34,772	23,028	41,978	25,885	44,623
第二外科	10,249	14,931	11,091	15,388	17,221	32,056
整形外科	6,811	12,645	7,805	14,710	11,380	21,483
脳神経外科	7,282	12,433	7,156	11,620	8,976	16,939
婦人科	9,959	27,612	7,397	19,910	6,042	9,465
産科周産期科	5,902	9,465	5,143	7,957	9,547	23,237
小児科	8,907	22,588	9,921	26,462	12,446	31,233
眼科	5,193	8,387	4,612	6,789	4,763	6,885
皮膚科	4,609	9,466	5,517	11,379	5,557	10,162
形成外科	2,120	3,978	2,320	4,612	2,544	5,296
泌尿器科	5,545	8,929	8,070	14,263	7,087	14,069
耳鼻咽喉科	8,648	19,623	8,236	16,142	7,697	13,785
神経精神科	2,094	4,279	1,790	3,267	2,573	4,807
放射線科	6,117	14,211	6,519	14,644	6,080	15,024
麻酔科	450	591	1,104	1,880	1,496	2,049
総合診療科	48	52	41	49	317	649
歯科口腔外科	5,208	8,852	5,003	8,923	5,876	9,593
リハビリテーション部	990	1,372	1,599	3,022	387	678
救急部*						
集中治療部*						
計	170,301	358,108	178,729	368,827	215,719	431,155

\*個人渡し未実施

## (エ) 年間院外処方延数

科別	平成15年度			平成16年度			平成17年度		
	枚	件	剤数	枚	件	剤数	枚	件	剤数
第一内科	21,647	103,754	2,812,761	21,867	106,775	3,084,580	19,065	94,204	2,914,687
第二内科	24,775	127,290	3,941,124	25,884	134,201	4,291,865	25,903	133,303	4,446,940
第三内科	8,096	35,431	840,743	8,185	34,714	829,754	7,833	32,823	750,871
第四内科	12,575	52,778	1,254,612	12,429	50,417	1,217,938	13,127	52,879	1,331,746
神経内科	8,696	35,510	1,074,855	8,462	36,259	1,159,475	8,723	36,822	1,241,933
第一外科	5,819	14,867	442,660	6,018	15,368	497,244	6,079	14,879	501,096
第二外科	2,056	11,464	316,648	2,123	11,595	326,213	2,008	11,117	330,596
整形外科	9,475	23,111	634,670	9,825	22,543	667,264	9,985	22,240	608,471
脳神経外科	4,706	13,589	474,926	4,761	14,086	515,500	3,970	11,766	455,128
婦人科	6,121	12,013	289,255	5,434	10,496	263,277	820	1,141	11,648
産科周産期科	1,015	1,381	14,558	787	1,087	11,300	4,833	9,185	251,658
小児科	4,989	12,933	338,851	4,871	12,496	360,127	4,563	11,719	351,470
眼科	17,679	35,401	314,450	17,537	36,091	355,241	17,259	34,809	366,371
皮膚科	15,020	40,353	573,596	15,197	40,678	630,689	14,355	38,591	540,980
形成外科	1,183	1,924	25,080	1,117	1,781	28,425	1,203	1,855	33,102
泌尿器科	4,770	7,078	216,856	5,107	7,775	242,513	5,006	7,858	251,813
耳鼻咽喉科	11,770	25,507	538,163	11,641	25,355	569,793	11,625	24,844	605,227
神経精神科	20,487	75,153	1,401,997	20,386	76,792	1,528,439	20,716	79,781	1,679,512
放射線科	1,536	3,762	91,079	1,618	3,987	103,796	1,564	3,557	99,744
麻酔科	1,979	8,763	166,313	2,404	10,730	205,717	2,453	10,883	203,701
総合診療科	3,054	10,646	214,297	3,499	12,012	254,996	3,871	13,728	292,441
歯科口腔外科	5,009	7,829	97,447	5,080	8,227	98,689	4,285	6,536	92,944
リハビリテーション部	2,121	7,335	113,454	2,435	8,826	155,546	2,308	8,373	145,596
救急部	31	82	813	48	142	2,313	45	152	3,623
集中治療部*									
計	194,609	667,954	16,189,208	196,715	682,433	17,400,694	191,599	663,045	17,511,298

\*個人渡し未実施

エ 手術部手術件数

(単位：件)

科 別	年 度		
	平 成 15 年 度	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度
第 一 内 科	10	13	12
第 二 内 科	8	28	10
第 三 内 科	1	2	—
第 四 内 科	5	8	9
神 經 内 科	9	12	7
第 一 外 科	540	513	571
第 二 外 科	421	459	463
整 形 外 科	645	694	800
脳 神 經 外 科	274	271	302
婦人科・産科周産期科	534	493	591
小 児 科	5	9	5
眼 科	1,008	806	876
皮 膚 科	389	383	394
形 成 外 科	364	337	394
泌 尿 器 科	493	545	461
耳 鼻 咽 喉 科	460	485	504
神 經 精 神 科	90	37	183
放 射 線 科	1	1	—
麻 酔 科	3	15	17
総 合 診 療 科	—	—	—
歯 科 口 腔 外 科	462	431	536
リハビリテーション部	1	—	—
救 急 部	331	305	216
合 計	6,054	5,847	6,351

(5) 分娩件数

(単位：件)

区 分	平 成 15 年 度	平 成 16 年 度	平 成 17 年 度
件 数	289	296	272

(6) 定床別等級別病床数

(平成18年4月1日現在)(単位:室、床)

区分	科名	第	第	第	第	第	第	整	脳	婦	産	小	眼	皮	形	泌	総	耳	神	放	歯	麻	神	リ	救急集中治療部					合	
		一	二	三	四	一	二	形	神	人	科	周	児	膚	成	尿	合	鼻	經	射	科	酔	内	ハ	救急	I	C	ク	小		
所在階	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	部	救急(救命救急センター)					計	
		10	11	11	10	5	5	8	8	6	6	7	7	9	4	9	4	1	2	3	3	3	3	3	3						
室数		15	12	14	15	14	14	14	14	14	8	13	12	15	14	15	14	21	13	11	6	(1)	1	2	2	11	273				
床数		51	51	51	52	51	52	51	51	49	31	48	50	30	20	45	5	50	50	56	50	16	18	14	36	(6)	10	3	3	52	994
特等	室数				1	1				1																					3
	床数				1	1				1																				3	
一等	室数	2	2		1	2	2			1		3	1	2	1		2	2												21	
	床数	2	2		1	2	2			1		3	1	2	1		2	2												21	
一般	室数	13	10	14	13	14	11	12	14	13	7	13	9	14	12	14	14	19	11	11	6	(1)	1	2	2	11	249				
	床数	49	49	51	50	51	49	49	51	48	30	48	47	49	48	49	50	54	48	48	36	(6)	10	3	3	52	970				
1床室		4	2	4	6	3	3	5	3	4	1	4	3	4	3	5	4	9	4								1	1	2	73	
2床室		4	2	1	2	3	3	2	3	3	3	1	1	5	4	3	2	4	2	3							1	1	2	53	
3床室		1	1	3		2	1		2	1		2	1		1	1	2	3												21	
4床室						1					1																			2	
5床室											1											6		5					5	12	
6床室		6	7	6	7	6	6	7	6	6	1	6	7	6	6	6	6	5	7	2										109	
9床室											1																			1	
10床室																											1			1	
11床室																								1	(1)				1	1	

※ 救急集中治療部には人工透析室(6床)が設置されている。

各階別室・床数

階	室数	床数
1	21	56
2	13	50
3	22	100
4	28	100
5	28	103
6	22	80

階	室数	床数
7	25	98
8	28	102
9	30	100
10	30	103
11	26	102
計	273	994

等級別室料差額料金

等級	料金
特等	10,500円
一等	5,250円

備

考

## (7) 病理解剖件数

(単位:体)

科 別	年 度		平成 15 年 度			平成 16 年 度			平成 17 年 度		
	性別		男	女	計	男	女	計	男	女	計
第 一 内 科			1	2	3	5		5	1		1
第 二 内 科			4	2	6	4	2	6	3	1	4
第 三 内 科				2	2	1		1	1		1
第 四 内 科			2	2	4	4		4	7	3	10
神 経 内 科			2		2	1	2	3			
第 一 外 科						2	2	4	1	1	2
第 二 外 科				2	2	1		1	3		3
整 形 外 科											
脳 神 経 外 科			2		2	2		2			
婦 人 科				1	1		1	1			
産 科 周 産 期 科				1	1	1	1	2			
小 児 科			2		2				1		1
眼 科											
皮 膚 科			1		1				1		1
泌 尿 器 科				2	2	2	2	4	2	1	3
耳 鼻 咽 喉 科						1		1	1	1	2
神 経 精 神 科											
放 射 線 科						1	1	2			
麻 酔 科											
歯 科 口 腔 外 科									2		2
慈 啓 会 病 院				1	1						
同 交 会 病 院											
そ の 他 病 院			2	3	5	6	5	11	2		2
集 中 治 療 部											
救 急 部			4	1	5		2	2	2	1	3
計			20	19	39	31	18	49	27	8	35

(8) 医療相談状況（平成17年度）

ア 各科別件数

(単位:件)

区分	科名	第一	第二	第三	第四	神	第一	第二	整	脳神	婦	産	小	眼	皮	形	泌	耳	神	放	麻	総	歯	シ	リ	救	そ	合
		内	内	内	内	経	外	外	形	経	人	科	児	科	膚	成	尿	鼻	経	射	酔	合	科	ン	ハ	急	の	計
外	新規	86	36	26	48	49	29	30	116	30	30	22	72	175	35	56	14	50	136	29	9	5	19	28	12	17	1,159	
	継続	247	262	98	199	238	153	52	344	110	120	47	210	180	92	42	81	99	316	83	80	2	67	203	42	24	3,391	
	計	333	298	124	247	287	182	82	460	140	150	69	282	355	127	98	95	149	452	112	89	7	86	231	54	41	4,550	
入	新規	85	155	93	123	75	105	131	238	131	169	85	145	249	73	55	105	152	57	73	27	7	68	13	139	3	2,556	
	継続	250	413	212	435	288	287	225	482	261	405	203	552	208	146	125	291	292	212	189	49	11	110	99	151	15	5,911	
	計	335	568	305	558	363	392	356	720	392	574	288	697	457	219	180	396	444	269	262	76	18	178	112	290	18	8,467	
合計		668	866	429	805	650	574	438	1,180	532	724	357	979	812	346	278	491	593	721	374	165	25	264	343	344	59	13,017	
備考		新規継続計						3,715	件	29%	継続計						9,302	件	71%	計						13,017	件	(100.0%)

イ 相談内容別件数

(単位:件)

相談内容		件数(延べ)	構成比(%)	備考
小児医療関係	育成医療	990	4.0%	
	小児慢性特定疾患	427	1.7%	
	養育医療・その他	181	0.7%	
医療費支払援助		5,220	20.9%	
生活保護法関係		471	1.9%	
障害福祉関係		1,545	6.2%	
老人福祉関係		213	0.9%	
介護保健関係		425	1.7%	
特定疾患医療		767	3.1%	
労働災害関係		246	1.0%	
健康保険関係		3,925	15.7%	
年金・手当関係		507	2.0%	
家族問題		523	2.1%	
就職・社会復帰		249	1.0%	
退院・転院援助		732	2.9%	
院内連絡調整		2,757	11.0%	
院外連絡調整		2,498	10.0%	
受診援助・指導		708	2.8%	
その他		1,843	7.4%	
心理判定・カウンセリング		749	3.0%	
計		24,976	100.0%	



## (9) 病院経営概況

ア 病院診療収入稼働額

(単位:円、%)

区分 年度	稼働額			構成比		
	入院	外来	合計	入院	外来	合計
平成15年度	13,824,152,094	3,084,962,202	16,909,114,296	81.8	18.2	100.0
平成16年度	13,974,010,907	3,101,288,852	17,075,299,759	81.8	18.2	100.0
平成17年度	14,291,950,397	3,059,726,378	17,351,676,775	82.4	17.6	100.0

イ 医療行為別診療収入稼働額

(単位:円)

行為	年度		平成15年度	平成16年度	平成17年度
	入院	外来			
初診料	入院	外来	13,106,157	12,290,598	10,982,485
	外来	入院	71,865,065	74,455,950	74,571,329
再診料	外来	外来	223,517,209	242,824,908	242,535,575
指導管理料	入院	外来	54,024,708	60,448,015	80,795,778
	外来	入院	232,482,282	232,277,339	239,975,015
投薬料	入院	外来	154,705,858	162,057,987	178,823,851
	外来	入院	379,150,509	368,483,268	252,931,347
注射料	入院	外来	600,021,210	562,942,366	541,788,147
	外来	入院	307,103,815	322,276,286	379,872,342
処置料	入院	外来	179,113,040	170,271,266	150,644,895
	外来	入院	32,649,355	36,107,731	30,370,948
手術料	入院	外来	3,684,363,977	3,616,985,768	3,764,185,312
	外来	入院	89,500,612	87,357,610	94,602,138
検査料	入院	外来	277,911,065	261,288,284	237,337,941
	外来	入院	861,844,170	849,610,005	834,770,279
画像診断料	入院	外来	140,472,381	127,333,382	119,649,867
	外来	入院	587,550,843	582,841,046	509,580,619
その他	入院	外来	293,487,200	313,273,163	286,962,875
	外来	入院	299,298,342	305,054,709	400,516,786
入院料(出来高分)	入院	入院	2,297,050,848	2,249,055,628	2,329,430,036
入院料(包括請求分)	入院	入院	6,096,248,400	6,402,542,950	6,553,423,210
室料差額	入院	入院	33,647,250	35,521,500	37,926,000
計	入院	外来	13,824,152,094	13,974,010,907	14,291,950,397
	外来	入院	3,084,962,202	3,101,288,852	3,059,726,378

※入院料(包括請求分)には、指導管理料、投薬料、注射料、処置料、検査料、画像診断料等を含む。

## 4 附属総合情報センター

### (1) 沿革

平成18年 4月 附属図書館と附属情報センターを統合した組織として附属総合情報センターを開設。情報化時代に対応する本学の教育、研究、地域医療支援に加え、高度な情報セキュリティ対策により、本学情報資産の安全な運用を目指す。

### (2) センター所長

平成18年 4月 1日 - 現在 佐藤昇志

### (3) 組織

(平成18年6月1日現在)

区分	教員	事務職員	司書	計
所長	1			1
副所長	1	1		2
主任司書			1	1
総務係		2		2
情報システム係		1	3	4
図書管理係			4	4
利用サービス係			4	4
計	2	4	12	18

兼任

### (4) 事業の概要及び主な施設の整備状況 (情報システム部門)

#### ア 教育支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
学生に対する基礎的な情報処理技術の教育環境整備、医学医療情報への応用能力育成のため、情報処理教育用の機器・ソフト等の充実した教育環境を整備するとともに、医学医療情報の検索、学生間あるいは研究者との情報交換を行えるネットワーク環境を提供する。	医学部教育用機器 (WindowsXPサーバ55台)等  保健医療学部教育用機器 (WindowsXPサーバ69台)等	基礎教育研究棟5階 情報センターコンピュータ実習室 保健医療学部棟1階 情報センターコンピュータ実習室

#### イ 研究支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
医学医療研究の高度化に対応した高度情報処理機器並びに医学医療用ソフトを整備し、さらには学内に存在する各種の情報を体系的に整理してデータベース化するなど、研究活動に必要な情報処理環境を提供する。	遺伝情報処理ネットワークシステム、データ解析・統計処理システム、統計処理システム、情報可視化・テキストマイニングツール、蛋白質同定システム、NRIサーバ・ハートテスト、e-Learnigシステム等	情報研究室 他

#### ウ 地域医療支援システム

趣旨	主な機器	設置場所等
北海道の医療分野においては、地域格差の解消が大きな課題となっており、本学が開かれた大学、高度な医療機関として地域に貢献するため、各種の医療機関ネットワークと相互接続し、連携を図りながら、離島やへき地をはじめ地域の医療機関で活動している医療関係従事者に最新の医学医療情報を提供し、診療診断サポートなどのサービスを提供する。	遠隔画像診断支援システム、TV会議システム、多地点マルチメディアTV会議システム、病理画像診断サーバシステム等	臨床教育研究棟3階 臨床第二会議室 他

#### エ 学内情報ネットワークシステム(SAINS)

趣旨	主な機器	設置場所等
情報センターが整備する上記3システム等を効率的に結合する情報通信基盤として、全学を網羅し、高速で安定した学内LANを構築するとともに、学術情報ネットワーク(SINET)と接続し、学内外のスムーズな情報交換が行えるネットワーク環境を提供する。	公開用WWWサーバ、セキュリティ管理サーバ、ログ管理サーバ、ユーザ認証システムサーバ、メールサーバ、大容量ハードディスク、多角的アプリケーションシステム活用サーバ、ネットワーク管理サーバ、DNS管理システム、侵入検知システム(IDS)、IP認証管理システム、ファイルサーバ、ファイアウォール、ウイルスチェックサーバ、RASサーバ、バックアップ機器等	基礎医学研究棟5階 情報センターコンピュータ室

( 図書館部門 )

ア 組織・施設概要

項 目	内 容
延面積	4,230 m <sup>2</sup>
閲覧席	281 席
(情報コンセント)	126 個
セミナー室	2 室
研究個室	4 室
利用者用端末	16 台
A V (視聴覚) 端末	12 台

イ 蔵書・利用概要

項 目		平成17年度
蔵 書	図 書	111,792 冊
	製 本 雑 誌	117,654 冊
	計	229,446 冊
利用状況	入 館 者 数	173,664 人
	館 外 貸 出	21,641 冊
	相互利用(受付)	8,610 件
	相互利用(依頼)	5,273 件

ウ 入館者数内訳 (平成17年度)

(単位：日、時間、人)

	開館状況		学 内 者					学外者	合 計
	日数	時 間	教職員	学部学生	大学院生	研究生等	学内者計		
全 体	351	5,265	13,190	135,073	6,056	13,901	168,220	5,444	173,664
うち特別開館時間帯	351	2,570	736	22,356	580	1,279	24,951	891	25,842

- 1 特別開館時間は、平日20時15分～24時及び土、日、祝日9時～24時
- 2 開館日数、時間、入館者数とも平成17年4月1日から平成18年3月31日までの合計

エ 特徴的な業務

- a 自動入退館システムにより、職員不在による特別開館(土・日・祝日を含む)の実施
- b 閲覧席に、持参のノートパソコンからインターネットへの接続環境を提供
- c 本学卒業生及び道内医療従事者へ、インターネットを介した文献複写受付サービスの提供
  - ・米国国立医学図書館「PubMed」(アジア初、世界9番目)
  - ・国立国会図書館「NDL-OPAC」雑誌記事索引(国内初)
- d 道内の医療機関発行病院誌等の電子化支援とインターネット上での代行公開

## 5 附属産学・地域連携センター

### (1) 沿革

平成16年4月 大学全体の研究支援機関として、知的財産管理室が発足  
平成18年4月 知的財産管理室と事務局の知的財産部門、研究協力部門が一体となり、新たな大学附属機関として、産学・地域連携センターが発足

### (2) センター所長

平成18年4月1日 - 現 在 濱 田 洋 文

### (3) 組織

(平成18年6月1日現在)

所 長	副所長	事務職員	客員研究員	産学官連携 コーディネーター	知的財産管理 アドバイザー
1※1	2※2	3	1	1	1

※1 兼任 ※2 うち1名兼任

### (4) 業務概要

#### ア 研究支援

- 科学研究費補助金等  
文部科学省科学研究費補助金をはじめとする各種研究助成金制度の情報提供、申請、経理補助等
- 共同研究・受託研究  
本学の研究活動の活性化及び研究成果活用につながる、企業や市町村等との共同研究・受託研究等の受付、あっせん、契約、経理等

#### イ 教育支援

- 知財教育プログラム  
医療研究者、地域医療従事者を支援するための知的財産教育プログラムの実施
- 知的財産関係図書  
知的財産関連図書・文献の学内貸出サービス

#### ウ 知的財産の管理活用

- 相談受付  
研究成果の権利化や活用等について、初歩から専門まで幅広く相談を受付
- 知的財産管理  
発明に関連した先行技術文献の調査、特許出願手続業務の実施、特許をめぐるトラブルの処理等
- リエゾン（知財を核とした技術移転）  
本学研究者と企業等との間の橋渡し

(5) 文部科学省科学研究費補助金

(単位:千円)

種目	平成16年度							平成17年度						
	新規応募		交付内定					新規応募		交付内定				
			(新規)			交付合計				(新規)			交付合計	
	件数	金額	件数	金額	採択率	件数	金額	件数	金額	採択率	件数	金額		
特定領域研究	42	295,200	7	34,900	16.7%	15	144,200	46	418,811	10	111,200	21.7%	11	113,100
基盤研究(S)	0	0	0	0	-	1	18,800	1	19,900	1	17,900	100.0%	1	17,900
基盤研究(A)	5	222,872	2	35,900	40.0%	2	35,900	3	66,400	0	0	0.0%	2	22,900
基盤研究(B)	38	580,186	11	77,200	28.9%	26	125,800	29	249,462	7	57,000	24.1%	24	121,400
基盤研究(C)	103	450,537	24	45,500	23.3%	66	89,000	113	302,351	27	54,200	23.9%	65	94,300
萌芽研究	33	153,910	4	7,600	12.1%	9	13,100	45	121,108	7	13,100	15.6%	12	18,700
若手研究(A)	2	22,510	0	0	0.0%	0	0	2	29,950	1	8,200	50.0%	1	8,200
若手研究(B)	26	119,603	8	16,900	30.8%	26	38,700	37	91,690	13	24,000	35.1%	23	35,000
特別研究員奨励費	3	4,500	3	3,400	100.0%	4	4,600	3	4,500	3	3,400	100.0%	5	5,700
合計	252	1,849,318	59	221,400	23.4%	149	470,100	279	1,304,172	69	289,000	24.7%	144	437,200

(6) 受託研究受入れ状況

(単位:件、千円)

区分	平成15年度		平成16年度		平成17年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
一般研究	37	47,648	45	37,134	39	55,438
治験	56	67,929	68	144,876	47	82,141
製造販売後調査※	63	10,939	74	9,647	41	8,558
合計	156	126,516	187	191,657	127	146,137

※平成17年9月より「市販後調査」から「製造販売後調査」へ名称変更

(7) 特許出願等の状況

(単位:件)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
出願	14	18	19	13	15
取得	1	3	—	2	0

※発明等の管理は、平成16年度までは教員個人が行い、平成17年度からは大学が行っている。

## 6 教育研究機器センター

### (1) 沿革

昭和25年	中央電子顕微鏡室が旧校舎に設置
昭和29年	RI研究室が基礎棟に設置
昭和36年	中央電子顕微鏡室が新電顕室に移設
昭和44年	中央電子顕微鏡室、中央実験動物室、中央写真室、放射性同位元素室、中央研究機械室を併合して共同研究施設部が発足
昭和46年	中央電子顕微鏡室が本部棟に新築移転
昭和49年	RI研究センター新築
昭和50年	中央組織学研究室発足
平成11年	基礎医学研究棟の新築、移転に伴い、共同研究施設部を教育研究機器センターに改称。分子医学研究部門を新設し、教員を配置。放射性同位元素室をラジオアイソトープ研究部門に改称し、細胞組織研究部門と合わせて3部門で発足
平成15年4月	細胞組織研究部門を分子機能解析部門に改称
平成15年6月	分子機能解析部門に教員を配置

### (2) 歴代施設部長及びセンター所長

昭和44年 4月 1日 - 昭和45年 3月31日	小野江 為 則
昭和45年 4月 1日 - 昭和46年 8月31日	永 井 寅 男
昭和46年 9月 1日 - 昭和50年 3月31日	田 中 護
昭和50年 4月 1日 - 昭和54年 3月31日	坂 上 利 夫
昭和54年 4月 1日 - 昭和58年 3月31日	林 喬 義
昭和58年 4月 1日 - 昭和61年 3月31日	藪 英 世
昭和61年 4月 1日 - 平成 2年 3月31日	秋 野 豊 明
平成 2年 4月 1日 - 平成 6年 3月31日	森 道 夫
平成 6年 4月 1日 - 平成10年 3月31日	加 納 英 雄
平成10年 4月 1日 - 平成12年 3月31日	浦 澤 正 三
平成12年 4月 1日 - 平成16年 3月31日	賀 佐 伸 省
平成16年 4月 1日 - 現 在	藤 井 暢 弘

### (3) 組織

センターは分子医学研究部門、分子機能解析部門、ラジオアイソトープ研究部門の3部門からなり、構成員は以下のとおりである。

(平成18年6月1日現在)

部 門	教 授	助 教 授	講 師	助 手	主 査	技 師	臨 床 検 査 技 師	診 療 放 射 線 技 師	電 子 顕 微 鏡 操 作 員	技 能 員	研 究 補 助 員	計
分子医学研究部門	1	1	1	2						2		7
分子機能解析部門	1	1		1	1		2		1		1	8
RI研究部門					1			3			1	5
合 計	2	2	1	3	2		2	3	1	2	2	20

#### (4) 研究計画の大要

##### ア 分子医学研究部門

- (ア) 遺伝子治療のための基礎技術の開発
- (イ) がんに対する遺伝子治療法の開発
- (ウ) 難治疾患に対する再生医療・遺伝子治療
- (エ) 幹細胞の基礎生物学と再生医療・遺伝子治療への応用

##### イ 分子機能解析部門

- (ア) 血清プロテオミクスを用いた病態マーカーの探索
- (イ) アルツハイマー病の診断システムの開発
- (ウ) 発生工学を用いた診断・治療モデルの開発
- (エ) 癌の治療応答性検出システムの開発
- (オ) システム理論によるヒューマンインターフェースの研究

## 7 動物実験施設部

### (1) 沿革

昭和25年4月

各講座で実験動物飼育開始

昭和27年

基礎医学講座共用の施設として基礎実験動物飼育室建設

臨床医学講座関係の施設として病院南側に動物舎建設

昭和38年12月

臨床動物実験室建設

昭和44年4月

共同研究施設部が設置され、中央実験動物室となる

昭和45年3月

基礎動物舎竣工

昭和57年2月

動物実験施設竣工

昭和57年5月

動物実験施設部設置

昭和63年10月

札幌医科大学動物実験指針施行

平成9年3月

動物実験施設部公開セミナーの開催を開始（以降、平成18年3月までに18回開催）

### (2) 歴代施設部長

昭和57年度 - 昭和58年度

浦澤正三

昭和59年度 - 昭和62年度

森道夫

昭和63年度 - 平成3年度

藪英世

平成4年度 - 平成7年度

大鹿英世

平成8年度 - 平成9年度

新津洋司郎

平成10年度 - 平成13年度

今井浩三

平成14年度 - 平成16年度

青木藩

平成17年度 - 現在

加納英雄

### (3) 組織

(平成18年6月1日現在)

教授	助教授	獣医師	動物飼育員	技能員
1(兼)	1	1	3	1



#### (4) 関連委員会・指針

動物実験施設管理運営委員会  
動物実験施設管理運営委員会動物実験部会  
感染防止委員会実験動物部会  
札幌医科大学動物実験指針

#### (5) 事業の概要（平成17年度）

##### ア 公開セミナー

第17回：培養細胞は生体機能を代替可能か？ 肝前駆細胞を用いた肝組織構築の試み

講師：札幌医科大学医学部がん研究所分子病理病態学部門 三高俊広 教授

第18回：病原体取扱（医療）機関におけるバイオセーフティ・バイオセキュリティ

- バイオテロ、新興・再興感染症への対応 -

講師：国立感染症研究所バイオセーフティ管理室 杉山和良 室長

イ 施設利用者数 延べ 11,103名

##### ウ 実験動物購入数及び飼育数

動物名	延べ飼育数	平均飼育頭数/日	購入頭数
ラット	409,093	1,121	5,502
マウス	781,397	2,141	5,726
モルモット	31,101	85	220
ウサギ	5,554	15	108
イヌ	732	2	0
ネコ	10,044	28	2
ブタ	1,633	4	24
サル	2,192	6	0
ハムスター	5,783	16	18
ウニ	350	1	50
コオロギ	0	0	0

##### エ 実験動物検疫検査実績数

	ラット	マウス	モルモット	ハムスター	ウサギ	ネコ	ブタ
受入頭数	5,502	5,733	220	18	108	0	24
発病頭数	1				12		
死亡頭数	1				1		
剖検検査頭数	11						
抗体検査頭数	206	198					
培養検査頭数					7		

## 8 医学部附属がん研究所

### (1) 沿革

昭和28年 4月	がん研究所が設置され研究を開始
昭和30年 7月	附属病院内にがん相談所を設置
昭和30年 9月 1日	札幌医科大学附属がん研究所設置
昭和35年10月	病理学部門、内科学部門を設置
昭和44年 4月 1日	分子生物学部門を設置
昭和52年 8月	札幌医科大学附属がん研究所新築
昭和56年 4月 1日	生化学部門を設置、内科学部門を廃止
平成 5年 4月 1日	札幌医科大学医学部附属がん研究所に名称変更
平成14年 4月 1日	病理学部門を分子病理病態学部門に名称変更

### (2) 歴代研究所長

昭和30年11月 1日－昭和36年 3月31日		中 川 諭
昭和36年 4月 1日－昭和40年 3月31日		新 保 幸太郎
昭和40年 4月 1日－昭和41年 3月31日	(所長事務代理)	小野江 為 則
昭和41年 4月 1日－昭和45年 3月31日		塚 田 英 之
昭和45年 4月 1日－昭和49年 3月31日		漆 崎 一 朗
昭和49年 4月 1日－昭和53年 3月31日		藤 永 蕙
昭和53年 4月 1日－昭和57年 3月31日		塚 田 英 之
昭和57年 4月 1日－昭和61年 3月31日		藤 永 蕙
昭和61年 4月 1日－昭和63年 3月31日		塚 田 英 之
昭和63年 4月 1日－平成 4年 3月31日		藤 永 蕙
平成 4年 4月 1日－平成 6年 3月31日		望 月 洋 一
平成 6年 4月 1日－平成 9年 3月31日		藤 永 蕙
平成 9年 4月 1日－平成12年 3月31日		望 月 洋 一
平成12年 4月 1日－平成16年 3月31日		佐々木 輝 捷
平成16年 4月 1日－現 在		時 野 隆 至

### (3) 組織

研究所に生化学、分子生物学、分子病理病態学の3部門を置き、構成員は次のとおりである。

(平成18年6月1日現在)

部 門	教 授	助教授	講 師	助 手	衛生検 査技師	臨床検 査技師	研 究 補助員	計
生 化 学	1	1		2	1		1	6
分子生物学	1		1	2	1			5
分子病理病態学	1			2		1		4
合 計	3	1	1	6	2	1	1	15

## (4) 研究計画の大要

### ア 生化学部門

- (ア) 非受容体型タンパク質チロシンキナーゼ、CAK $\beta$ 、の活性化機序とシグナル伝達における役割に関する研究
- (イ) 焦点接着に局在するタンパク質、Hic-5、の機能に関する研究
- (ウ) 軸索ガイダンス分子セマフォリンの神経回路形成過程における機能解析
- (エ) 細胞周期チェックポイントに関与するヒトRad9蛋白質の機能発現とその解析

### イ 分子生物学部門

- (ア) ヒト癌の発生机序の解明
- (イ) がん関連遺伝子の機能の解明
- (ウ) p53標的遺伝子の単離と機能解析、p53およびそのファミリー遺伝子群の機能解析
- (エ) 癌における細胞周期チェックポイント異常の解析
- (オ) Ewing肉腫/PNETの発生机序、ETS群遺伝子とがん細胞の浸潤・転移
- (カ) ウイルスベクターを用いたがんの遺伝子治療の基礎研究
- (キ) 癌における後成的遺伝子修飾の解析

### ウ 分子病理病態学部門

- (ア) 肝臓の再生及び肝幹（前駆）細胞を用いた肝臓の再構築に関する研究
- (イ) 幹（前駆）細胞に関する研究
- (ウ) 細胞接着に関する研究
- (エ) 細胞外基質と疾患に関する研究
- (オ) 人工肝臓の基礎的研究

## 9 医学部附属臨海医学研究所

### (1) 沿革

昭和43年 2月26日	附属臨海医学研究所設置委員会設置
昭和43年 5月 2日	附属臨海医学研究所運営委員会設置
昭和43年 9月 1日	札幌医科大学附属臨海医学研究所設置
昭和53年 7月25日	研究所開所10周年記念式典挙行
平成 5年 4月 1日	札幌医科大学医学部附属臨海医学研究所に名称変更
平成 5年11月 1日	研究所開所25周年記念式典挙行
平成11年 5月10日	札幌医科大学内に臨海医学研究所札幌研究室を設置

### (2) 歴代研究所長

昭和43年 9月 1日	—	昭和45年 2月 1日	新 保 幸太郎
昭和45年 2月 1日	—	昭和51年 3月31日	渡 邊 左武郎
昭和51年 4月 1日	—	昭和55年 2月 8日	(所長事務取扱) 渡 邊 左武郎
昭和55年 2月 9日	—	昭和55年 6月30日	( " ) 和 田 武 雄
昭和55年 7月 1日	—	昭和57年 3月31日	小野江 為 則
昭和57年 4月 1日	—	昭和61年 2月 8日	菊 地 浩 吉
昭和61年 2月 9日	—	昭和61年 2月28日	(所長事務取扱) 菊 地 浩 吉
昭和61年 3月 1日	—	平成 2年 2月28日	高 橋 杏 三
平成 2年 3月 1日	—	平成 5年 3月31日	三 宅 浩 次
平成 5年 4月 1日	—	平成 8年 2月29日	秋 野 豊 明
平成 8年 3月 1日	—	平成10年 2月28日	森 道 夫
平成10年 3月 1日	—	平成12年 2月29日	森 道 夫
平成12年 3月 1日	—	平成14年 2月28日	神 保 孝 一
平成14年 3月 1日	—	平成16年 2月29日	神 保 孝 一
平成16年 3月 1日	—	平成18年 2月28日	佐 藤 昇 志
平成18年 3月 1日	—	現 在	當 瀬 規 嗣

### (3) 組織

(平成18年4月1日現在)

職 種 部 門	教 授		助 教 授		講 師		計
	専 任	兼 任	専 任	兼 任	専 任	兼 任	
所 長		1					1
基礎医学部門			1		1		2
臨床医学部門							
計		1	1		1		3

### (4) 研究計画の概要

- ア 海洋生物由来抗腫瘍及び免疫抑制物質に関する研究
- イ 海洋生物の繁殖及び行動に関する生物リズム及びケミカルシグナルの解析
- ウ 水産食品中の抗環境ホルモン様物質の探索
- エ 海洋深層水の医学的有効利用に関する研究
- オ 抗原提示細胞における抗原提示機構に関する解析

# 10 平成18年度歳入歳出予算

## (1) 一般会計

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
国庫支出金	65,500	一般管理費	4,377,226
国庫補助金	65,500	職員費	3,724,512
		共済組合給与金	652,714
使用料及び手数料	889,824	大学運営費	1,870,714
使用料	758,166	維持管理費	1,668,698
証紙収入	131,658	営繕諸費	16,028
諸収入	254,415	附属臨海医学研究所費	13,909
受託事業収入	218,236	校舎等整備費	172,079
雑収入	36,179	教育研究費	755,203
道債	112,000	教育研究費	659,406
道債	112,000	特定医学研究費	7,705
		研究用図書整備費	43,967
		北方医学研究費	7,081
		がん研究所費	19,341
		知的財産活用推進費	17,703
		諸支出金	5,200
		諸費	5,200
計	1,321,739	計	7,008,343

## (2) 特別会計

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
<u>使用料及び手数料</u>	17,568,606	<u>一般管理費</u>	8,227,462
病院使用料	17,489,206	職員費	8,185,176
諸手数料	79,400	公務災害補償費	120
		管理事務費	42,166
<u>国庫支出金</u>	185,313	<u>維持管理費</u>	1,470,291
国庫補助金	185,313	建物等維持費	879,774
		建物保守管理業務委託費	590,517
<u>財産収入</u>	100	<u>病院事業費</u>	10,217,802
物品売払収入	100	診療協力事業費	637,038
		診療諸費	8,524,188
<u>繰入金</u>	2,568,582	臨床研修費	366,130
一般会計繰入金	2,568,582	医療機器等整備費	550,000
		医学研究受託事業費	140,446
<u>繰越金</u>	300,000	<u>公債費</u>	1,837,781
繰越金	300,000	償還元金	1,433,861
		償還利子	396,263
<u>諸収入</u>	268,920	一時借入金利子	7,657
延滞金	1	<u>諸支出金</u>	16,185
受託事業収入	158,442	災害補償基金負担金	6,245
雑収入	110,477	児童手当	9,940
<u>道債</u>	878,000		
道債	878,000		
計	21,769,521	計	21,769,521

# 11 校舎等建物面積

(平成18年4月1日現在 単位：㎡)

用途別	建物別	計	大 学 校 舎						RI室・が ん研究所	臨海医学 研 究 所
			東 棟	本部棟	教育北棟	教育棟	保健医療学棟	臨海教育棟		
校	講義・演習室	3,775	1,059	358	360	920	816	262		
	実習・実習室	8,331			1,551	510	2,926	2,039	1,305	
	研 究 室	4,484	641	153			1,241	1,313	1,136	
	講 座 関 係	3,727	199					2,578	950	
	標 本 館	407	37						370	
	図 書 館	4,230							4,230	
	研究センター	1,262								1,262
	動物実験施設	2,080	1,691	389						
	講 堂	461						461		
	管理関係その他	29,771	4,312	1,025	637	311	2,655	8,137	12,694	
小 計	58,528	7,939	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,685	1,262	
研 究 所	がん研究所	1,617								1,617
	臨海研究所	199								199
	小 計	1,816								1,617
計	60,344	7,939	1,925	2,548	1,741	7,638	14,790	20,685	2,879	199

用途別	建物別	計	附属病院		体育館	弓道場	グラウンド 附属建物	学生寮	保育所	看護師 宿 舎	公 宅	国際医 学交流 センター	リハビリ テーション 教育実習棟	交 流 会 館	ファミリ ーハウス	記 念 ホ ー ル	白 井 小 屋	そ の 他
			中央診療 等病棟	外 来 診 療 等														
附 属 病 院	病棟関係	24,635	22,253	2,382														
	外来関係	8,065	901	7,164														
	中央部門	11,373	10,257	1,116														
	管理関係その他	20,450	17,351	3,099														
	小 計	64,523	50,762	13,761														
体 育 施 設	1,741			1,440	139	162												
学 生 寮	1,190						1,190											
保 育 所	486							486										
看 護 師 宿 舎	2,847								2,847									
公 宅	3,849									3,849								
国際医学交流センター	618										618							
リハビリテーション教育実習棟	778											778						
交 流 会 館	1,907												1,907					
ファミリ－ハウス	552													552				
記 念 ホ ー ル	738														738			
そ の 他	165																72	93
計	79,394	50,762	13,761	1,440	139	162	1,190	486	2,847	3,849	618	778	1,907	552	738	72	93	

総計 139,738

# 平成 18年度 札幌医科大学要覧

平成 18年 8月発行

編集・発行

札幌医科大学事務局企画課

〒060-8556

北海道札幌市中央区南 1 条西 1 7 丁目

TEL 011-611-2111 内線2165

FAX 011-611-2237

<http://web.sapmed.ac.jp>